

住まいと住環境に関する市民アンケート調査

結果報告書

令和4年1月 建築部建築総務課

調査概要

調査の目的

市民の「住まい」や「住環境」に対する意識や意見を把握し、今後予定されている「旭川市住生活基本計画」や関連する事業の見直しに当たっての基礎資料とすること。

調査方法

郵送によるアンケート方式

調査票発送対象

令和3年11月1日時点で満18歳以上の市民から無作為に1,500人を抽出

回収期間

令和3年11月8日から令和3年11月30日まで

調査項目

§ 1	今住んでいる住宅や地域に関する設問	9問
§ 2	A 住宅の修繕に関する設問	2問
	B マンション管理に関する設問	3問
	C 持ち家への住み替えに関する設問	3問
§ 3	空き家に関する設問	3問
§ 4	市営住宅に関する設問	2問
§ 5	災害対策に関する設問	3問
§ 6	その他の設問	7問
		計32問

詳細は巻末調査票のとおり。

回答数

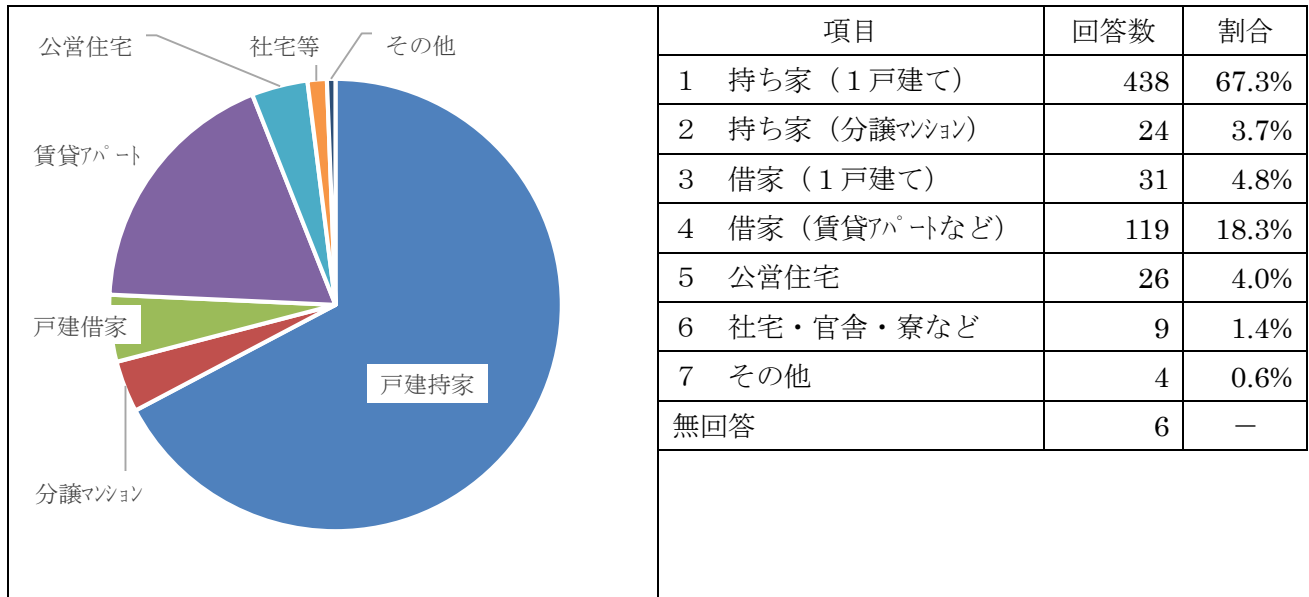
発送数1,500に対し回答数657（回答率43.8%）

§ 1 今住んでいる住宅や地域に関する設問 (Q1～Q9)

Q1 住宅の種類

○今お住まいの住宅は次のうちどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 持ち家（1戸建て） | 2. 持ち家（分譲マンション） |
| 3. 借家（1戸建て） | 4. 借家（賃貸アパートなど） |
| 5. 公営住宅（市営住宅や道営住宅） | 6. 社宅・官舎・寮など |
| 7. その他 | |



注 端数処理の都合上、割合の合計が100%とならない場合がある。（以下同様）

注 特筆がない場合、各設問の割合は「アンケートの総回答数から各設問の無回答の数を減じた数に対する割合」としている。（以下同様）

経年比較	H27		R3	増減
1 持ち家（1戸建て）	70.3%	↓	67.3%	-3.0%
2 持ち家（分譲マンション）	3.7%	→	3.7%	0.0%
3 借家（1戸建て）	3.1%	↑	4.8%	1.7%
4 借家（賃貸アパートなど）	15.8%	↑	18.3%	2.4%
5 公営住宅	5.2%	↓	4.0%	-1.2%
6 社宅・官舎・寮など	0.8%	→	1.4%	0.5%
7 その他	1.0%	→	0.6%	-0.4%

注 左から3列目の矢印の凡例は次のとおりである。（以下同様）

↑ : H27 に比べ 1.0%以上の増加

→ : H27 からの増減が±1.0 未満

↓ : H27 に比べ 1.0%以上の減少

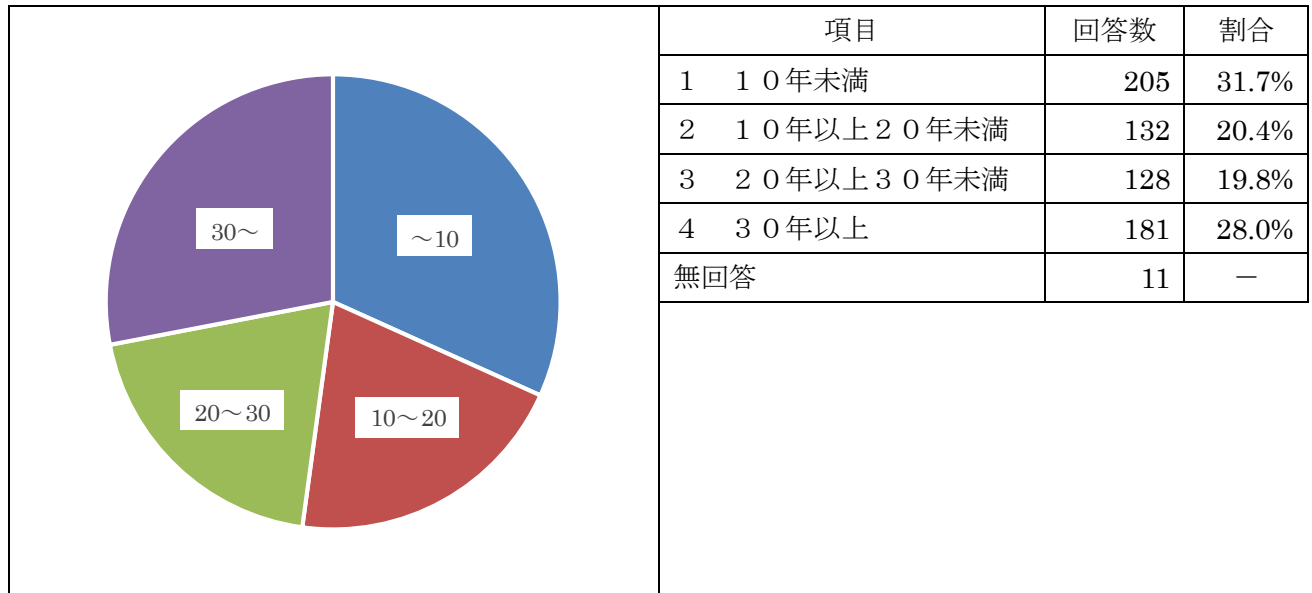
注 端数処理の都合上、表中の「H27 の数値と R3 の数値の差」と「増減の数値」が一致しない場合がある。（以下同様）

1戸建ての持ち家にお住まいの方が最も多く、全体の約7割を占めていた。次いで賃貸アパートなどにお住まいの方が多く、全体の約2割を占めていた。経年比較において、大幅な増減はなかった。

Q2 居住年数

○今お住まいの住宅に何年住んでいますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 10年未満 2. 10年以上～20年未満
3. 20年以上～30年未満 4. 30年以上



経年比較	H27		R3	増減
1 10年未満	34.9%	↓	31.7%	-3.2%
2 10年以上20年未満	19.4%	↑	20.4%	1.1%
3 20年以上30年未満	19.4%	→	19.8%	0.5%
4 30年以上	26.4%	↑	28.0%	1.7%

「10年未満」が最も多く、次いで「30年以上」となっている。経年比較では、大幅な増減とまでは言えないものの、「10年未満」が減少していた。

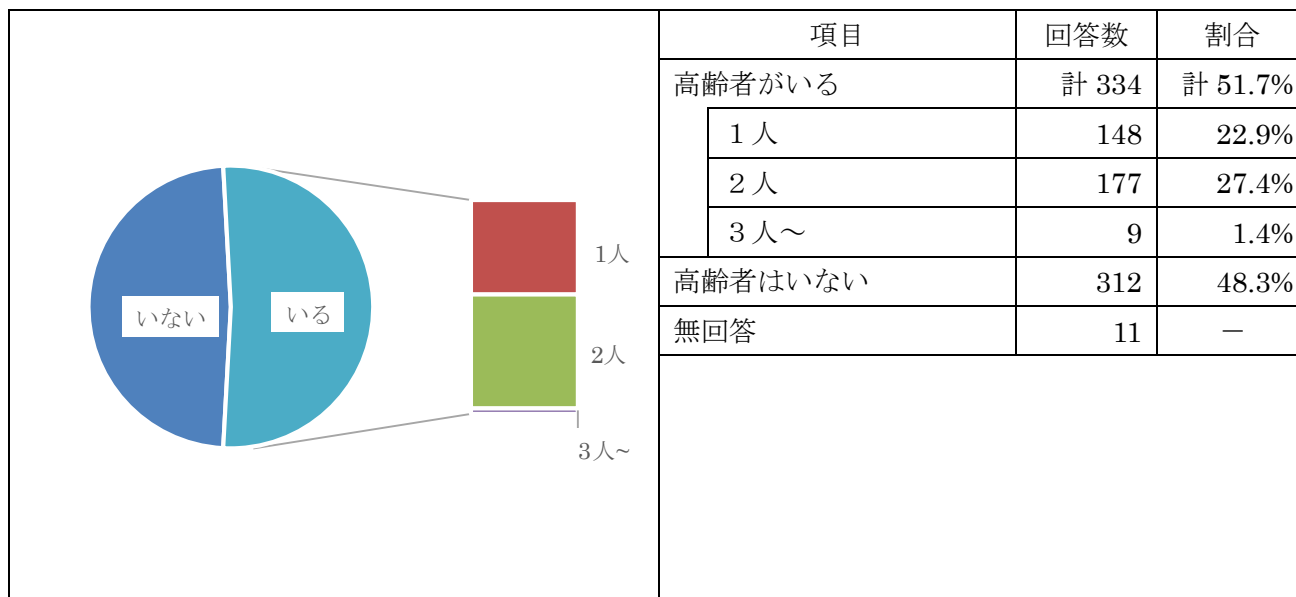
Q3 高齢者・子ども・障がい者

○今お住まいの住宅に次に該当する方は何人いますか。人数を記入してください。

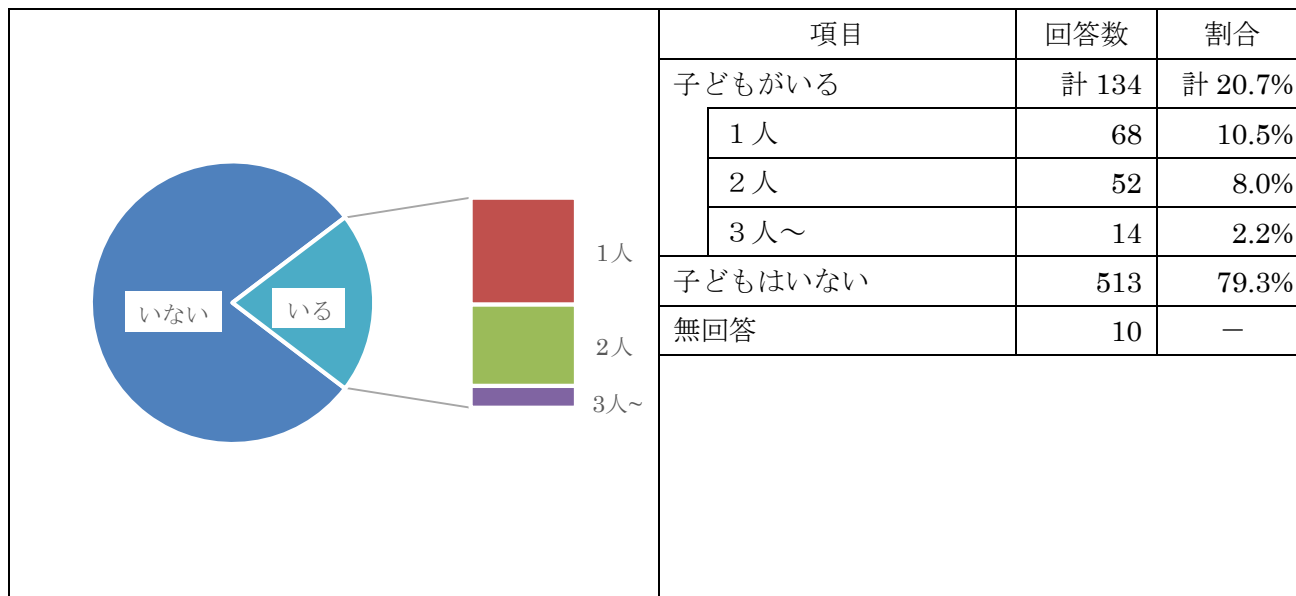
いない場合は0を記入してください。

1. 65歳以上の高齢者 (人)
2. 18歳未満の子ども (人)
3. 障がいをお持ちの方 (人 うち18歳未満 人, 65歳以上 人)

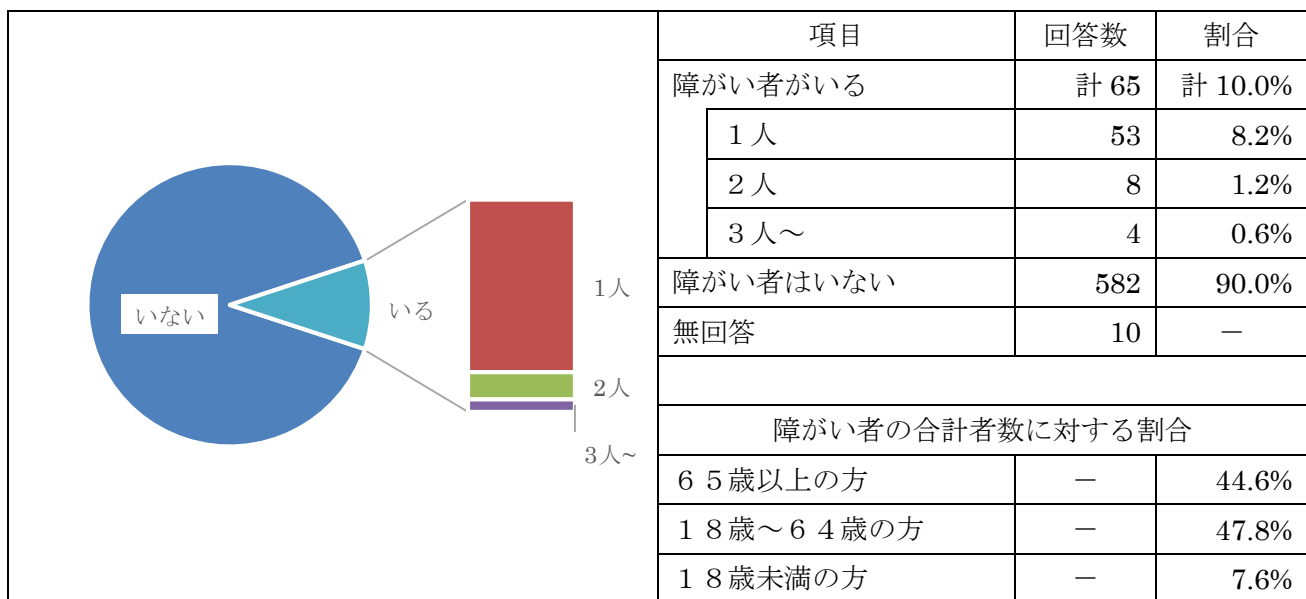
1 高齢者の有無, 人数



2 子どもの有無, 人数



3 障がい者の有無，人数



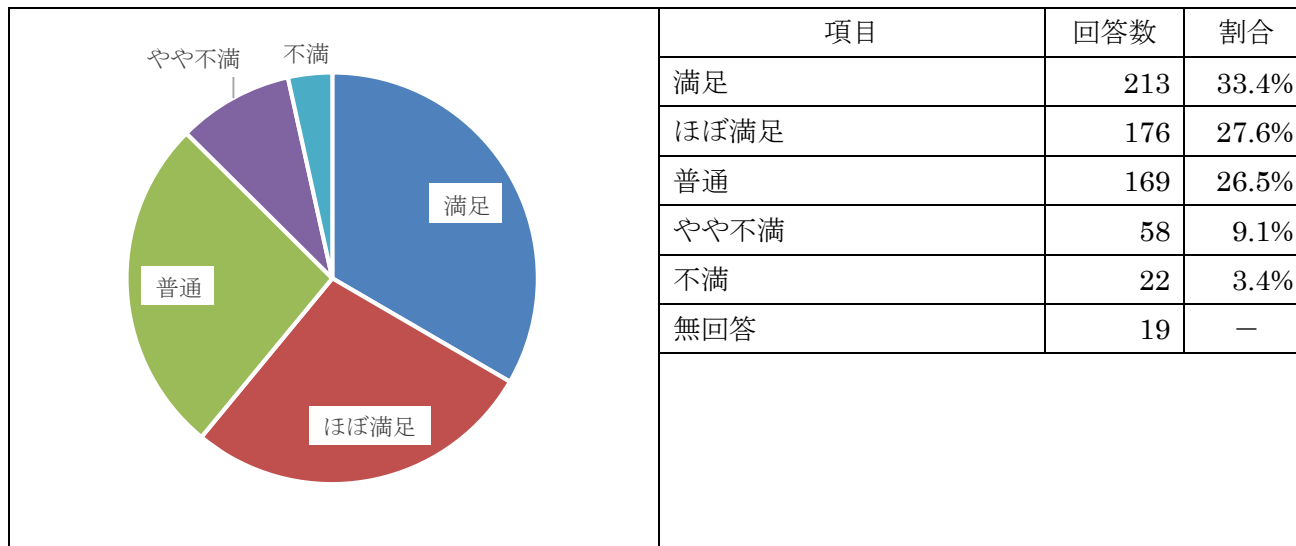
経年比較	H27		R3	増減
高齢者がいる住宅	39.4%	↗	51.7%	12.3%
子どもがいる住宅	21.1%	→	20.7%	-0.4%
障がい者がいる住宅	8.1%	↗	10.0%	1.9%

高齢者がいる住宅が約5割，子どもがいる住宅が約2割，障がい者がいる住宅が約1割という結果となった。経年比較では，高齢者がいる住宅は1割以上増加していたが，子どもと障がい者はほぼ横ばいであった。

Q4 今の住宅について

○今お住まいの「住宅」について、どのように感じていますか。項目ごとに、どれか1つに○を記入してください。(満足 ほぼ満足 普通 やや不満 不満)

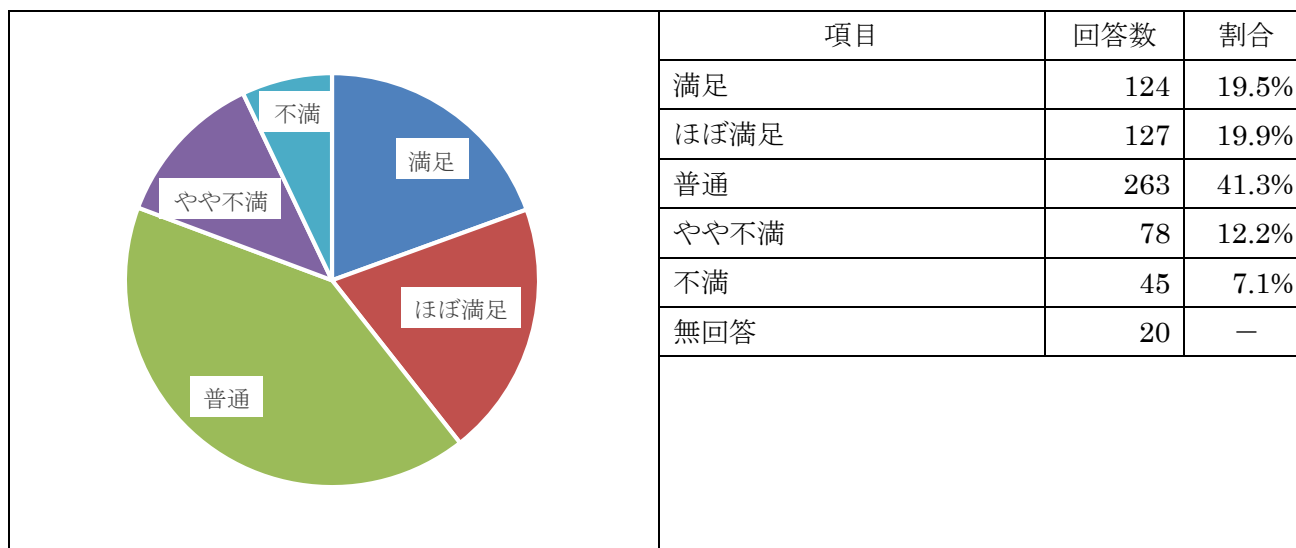
1 住宅の広さ・間取り



経年比較	H27		R3	増減
満足	31.6%	↗	33.4%	1.8%
ほぼ満足	27.9%	→	27.6%	-0.3%
普通	25.7%	→	26.5%	0.7%
やや不満	10.0%	→	9.1%	-0.9%
不満	4.8%	↘	3.4%	-1.4%

「満足」「ほぼ満足」の合計が50%を超えており、全体的に満足度が高い結果となった。経年比較においても、目立った増減という程ではないが、「不満」が減り「満足」が増える結果となっていた。

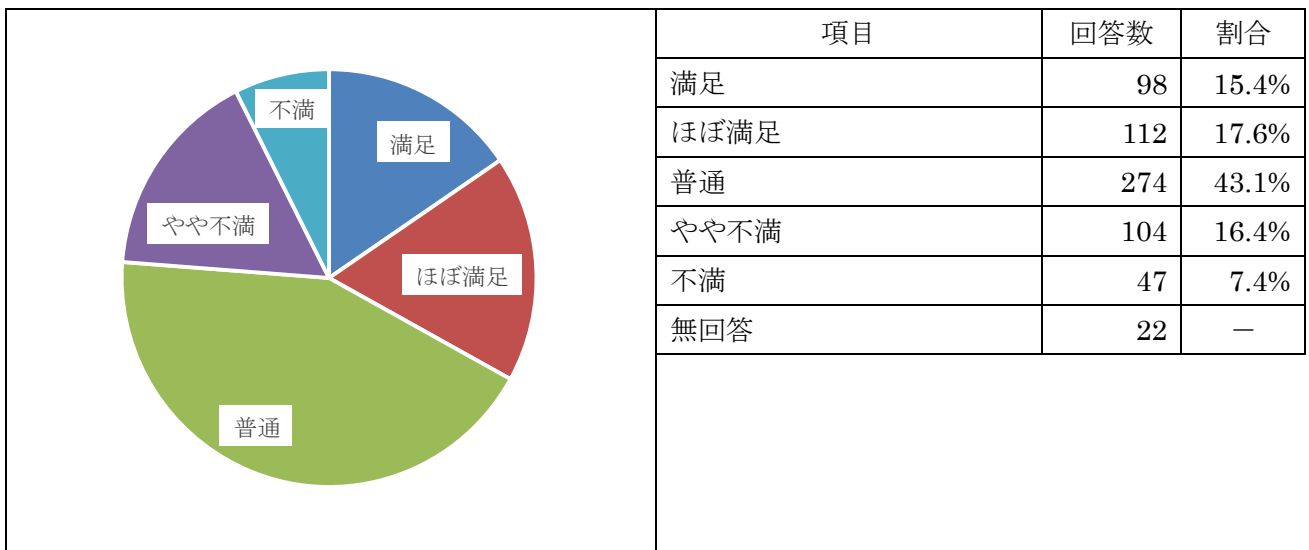
2 台風・大雨などに対する安全性



経年比較	H27		R3	増減
満足	10.7%	↗	19.5%	8.8%
ほぼ満足	17.0%	↗	19.9%	2.9%
普通	48.1%	↘	41.3%	-6.8%
やや不満	17.0%	↘	12.2%	-4.8%
不満	7.2%	→	7.1%	-0.2%

「普通」が最も多く、約4割を占めていた。H27では「満足」「ほぼ満足」の合計と「不満」「やや不満」の合計が概ね均衡していたが、R3では合計で約10%「満足」「ほぼ満足」が増加し、改善傾向が見られた。

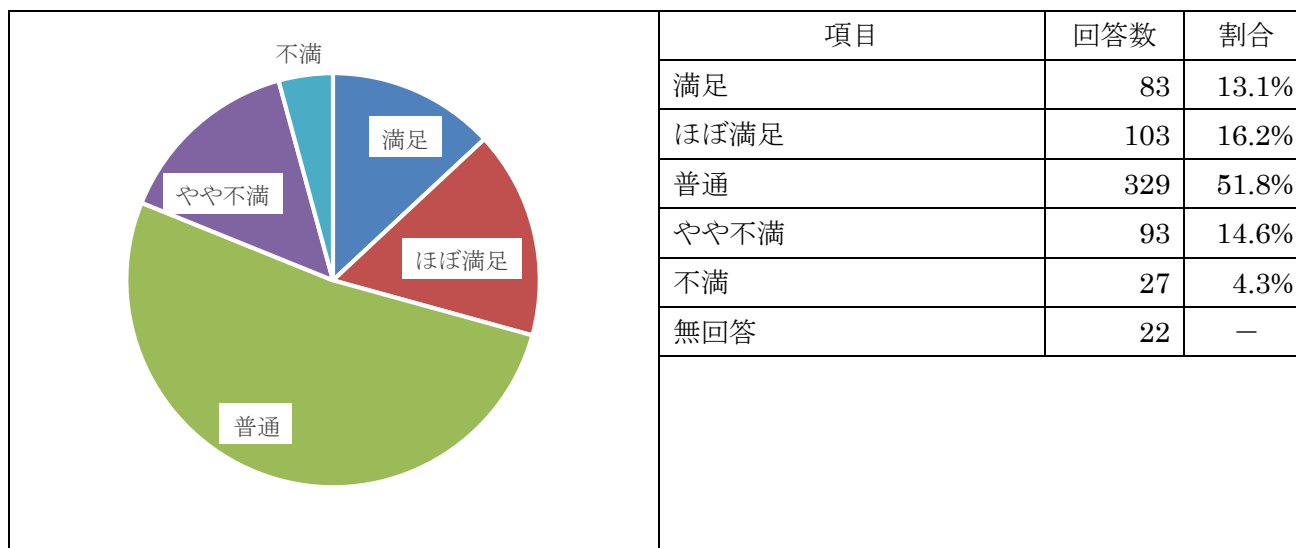
3 地震などに対する安全性



経年比較	H27		R3	増減
満足	9.1%	↗	15.4%	6.3%
ほぼ満足	12.9%	↗	17.6%	4.8%
普通	42.1%	↗	43.1%	1.1%
やや不満	22.5%	↘	16.4%	-6.2%
不満	13.4%	↘	7.4%	-6.0%

「普通」が最も多く、約4割となっている。H27においても「普通」が最も多いことに変わりはないが、「やや不満」「不満」が合計で約12%減少し「普通」「やや満足」「満足」が増加しているなど、改善傾向が見られた。

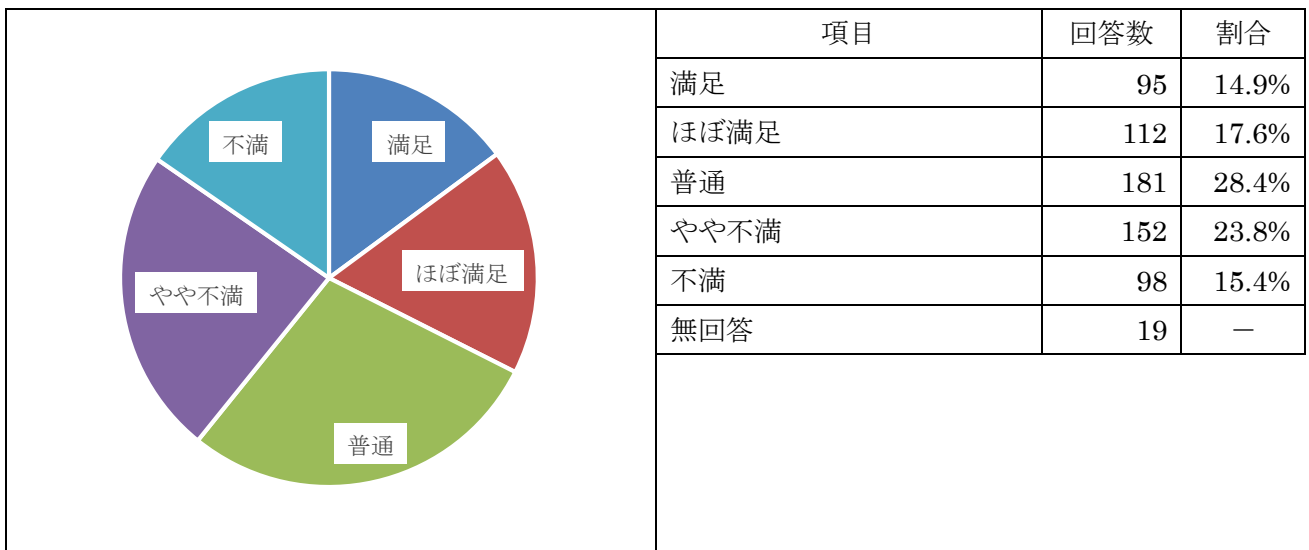
4 火災に対する備え



経年比較	H27		R3	増減
満足	15.2%	↓	13.1%	-2.1%
ほぼ満足	19.0%	↓	16.2%	-2.8%
普通	44.2%	↑	51.8%	7.7%
やや不満	13.9%	→	14.6%	0.8%
不満	7.8%	↓	4.3%	-3.5%

「普通」が約半数となっている。経年比較では、依然として「満足」「ほぼ満足」の合計は「不満」「やや不満」の合計を上回っており、計約5%程度と数値は小さいものの「満足」「ほぼ満足」の合計が減少する結果となった。

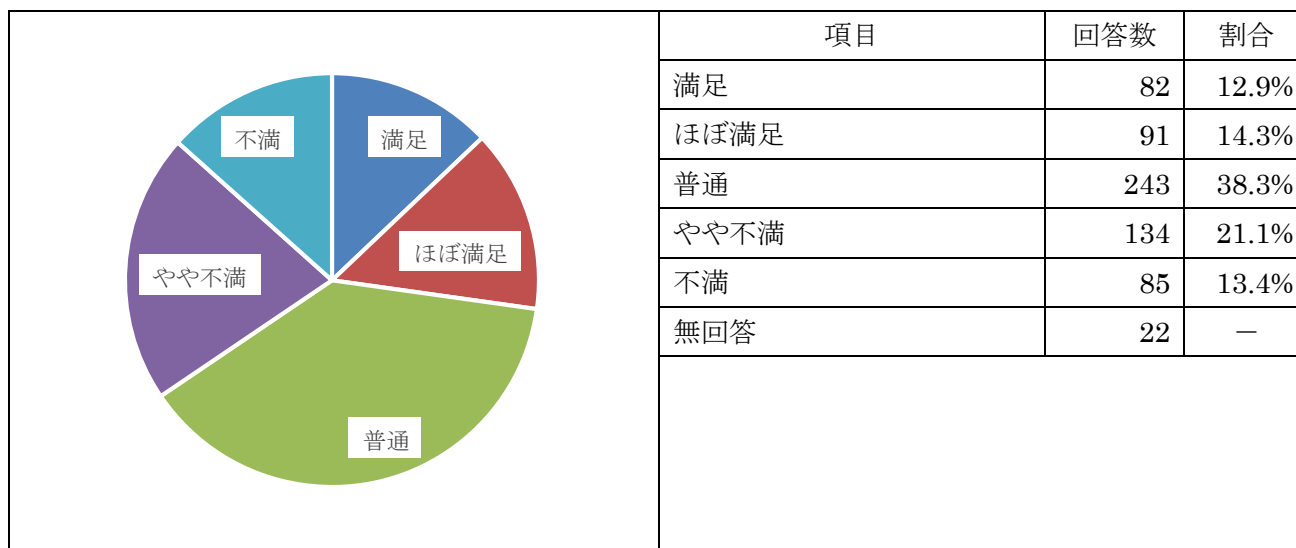
5 断熱性や気密性（防寒・防暑）



経年比較	H27		R3	増減
満足	13.1%	↗	14.9%	1.8%
ほぼ満足	24.6%	↘	17.6%	-7.1%
普通	30.4%	↘	28.4%	-2.0%
やや不満	19.7%	↗	23.8%	4.1%
不満	12.1%	↗	15.4%	3.3%

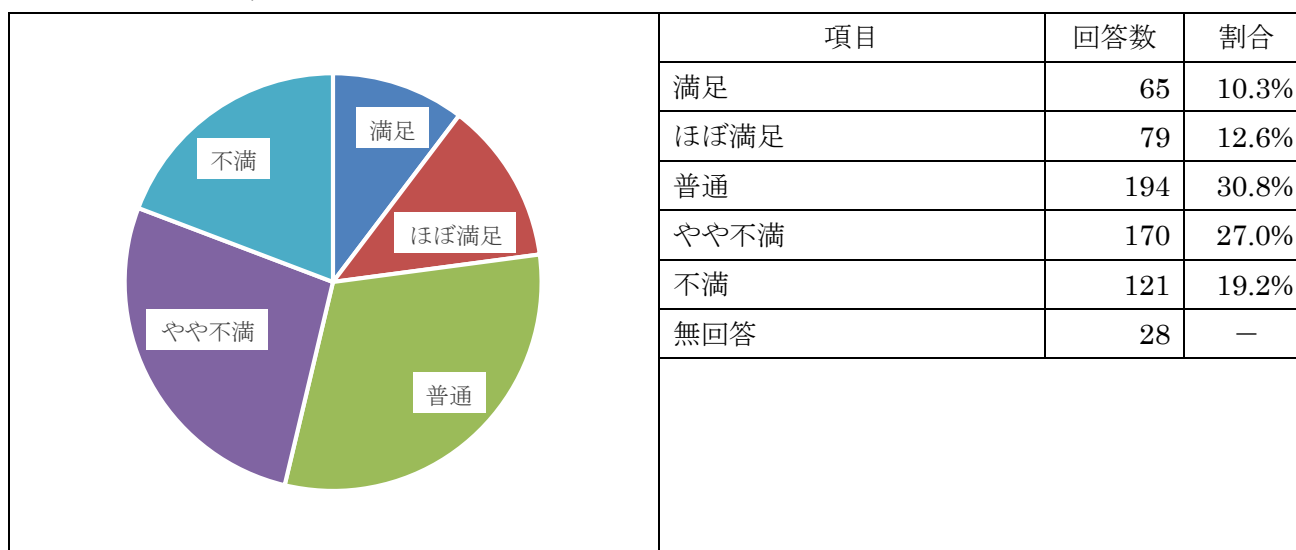
「不満・やや不満」が4割弱と比較的多かった。経年比較では「ほぼ満足」「普通」が減少し、「満足」「やや不満」「不満」が増加していた。「不満」「やや不満」の方が「満足」よりも大きく数値を伸ばしており、悪化傾向と両極化の進行の両方が確認できた。

6 防音性



R3で新規設問とした。「普通」が最も多く、4割弱となった。「不満」「やや不満」の合計が「満足」「ほぼ満足」の合計を上回っており、全体としてはやや不満傾向である。

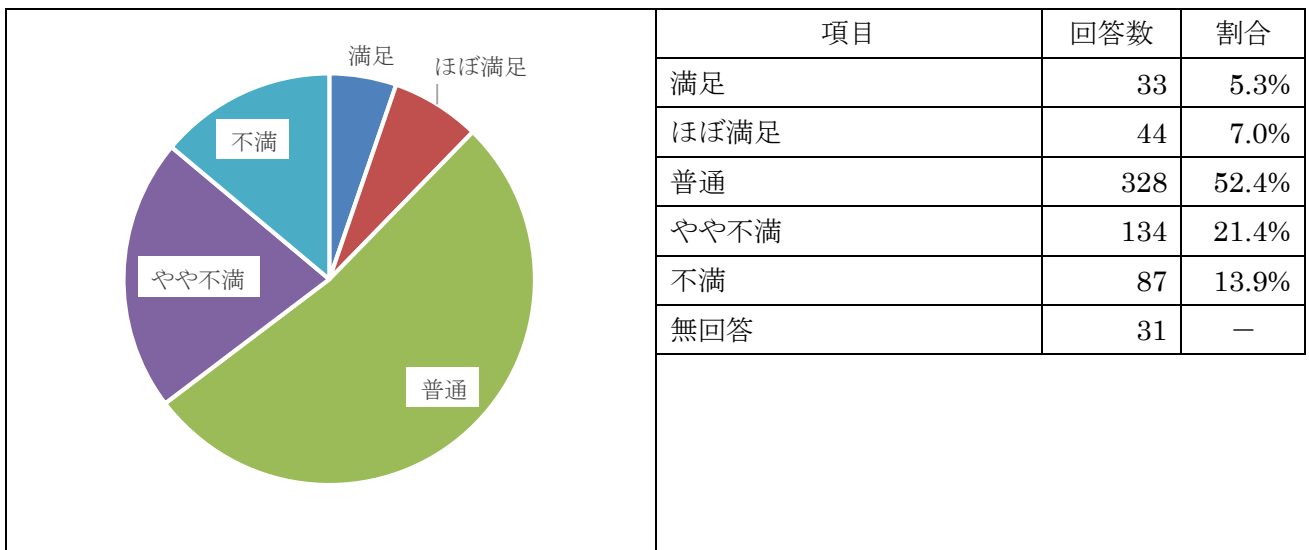
7 バリアフリー対応



経年比較	H27		R3	増減
満足	5.9%	↗	10.3%	4.5%
ほぼ満足	11.3%	↗	12.6%	1.2%
普通	32.9%	↘	30.8%	-2.1%
やや不満	24.0%	↗	27.0%	3.1%
不満	25.9%	↘	19.2%	-6.6%

「不満」「やや不満」の合計が約半数になっており、不満傾向が強い。経年比較では「満足」「ほぼ満足」が約6%上昇しており、改善傾向が見られた。

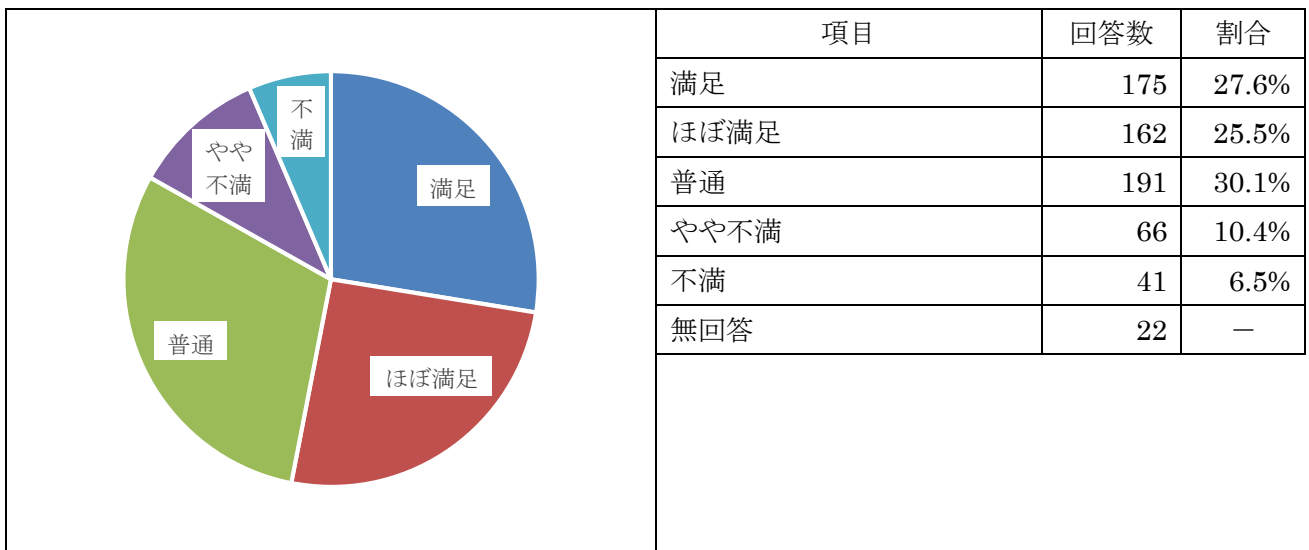
8 省エネや脱炭素などの環境への配慮



経年比較	H27		R3	増減
満足	3.4%	↗	5.3%	1.9%
ほぼ満足	3.2%	↗	7.0%	3.8%
普通	37.9%	↗	52.4%	14.5%
やや不満	27.5%	↘	21.4%	-6.0%
不満	28.1%	↘	13.9%	-14.2%

「普通」が約半数を占めており、「満足」「ほぼ満足」の合計が約12%に留まることから、不満が優位であった。一方で、経年比較では「不満」「やや不満」が合計で約20%減少し「普通」「ほぼ満足」「満足」が増加していることから、不満が解消している傾向が見られた。

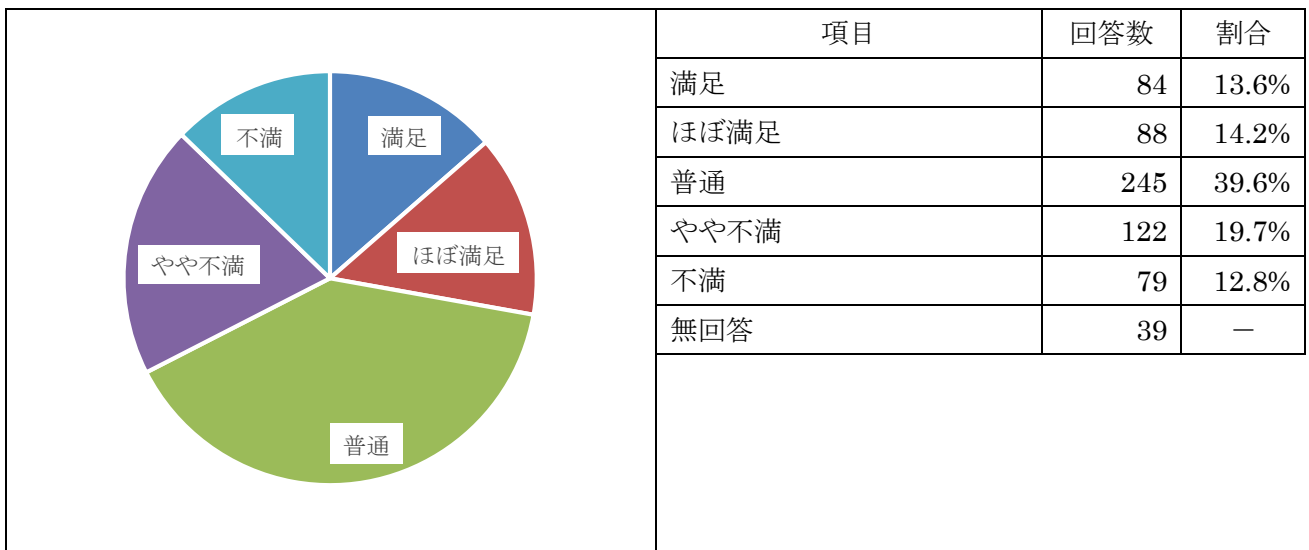
9 日当たり・風通し



経年比較	H27		R3	増減
満足	24.2%	↗	27.6%	3.4%
ほぼ満足	28.8%	↘	25.5%	-3.2%
普通	31.8%	↘	30.1%	-1.7%
やや不満	11.4%	↘	10.4%	-1.1%
不満	3.9%	↗	6.5%	2.6%

「満足」「ほぼ満足」の合計が約半数を占めており、満足が優位な結果となった。経年比較では、「満足」「不満」がそれぞれ増加しており、中間層が減少していることから、両極化の進行が見られた。

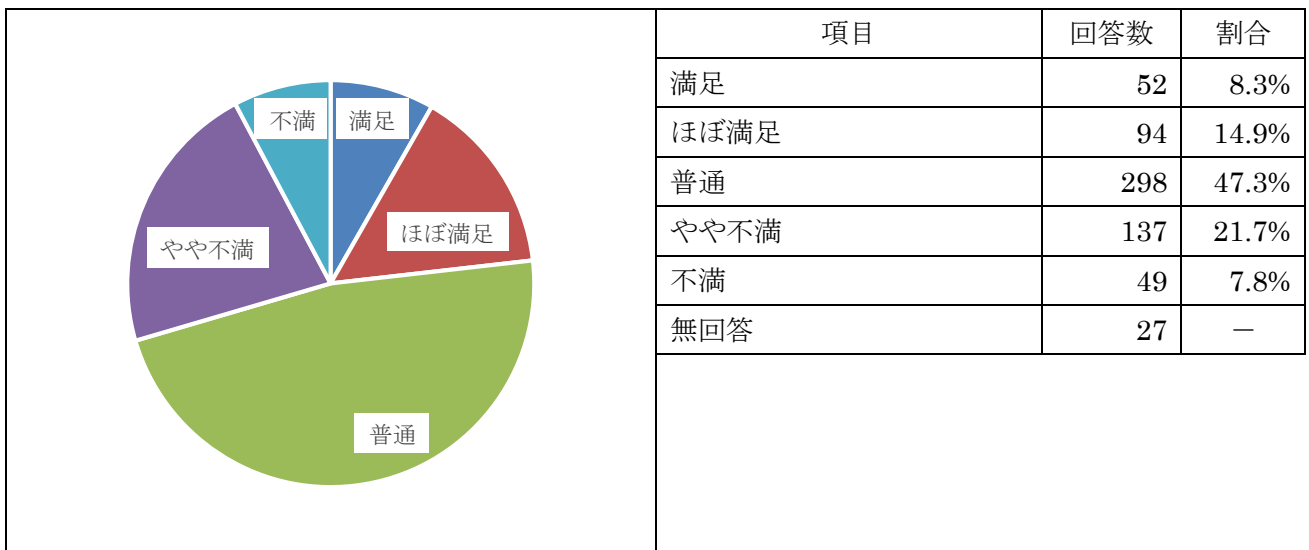
10 築年数



経年比較	H27		R3	増減
満足	12.0%	↗	13.6%	1.6%
ほぼ満足	15.0%	→	14.2%	-0.7%
普通	45.0%	↘	39.6%	-5.3%
やや不満	15.9%	↗	19.7%	3.9%
不満	12.2%	→	12.8%	0.5%

「普通」が約4割となっている。「満足」「ほぼ満足」の合計と「不満」「やや不満」の合計は、不満が多いが均衡している。経年比較では「普通」が減少し「満足」と「やや不満」がそれぞれ増加していることから、両極化の進行が確認できた。

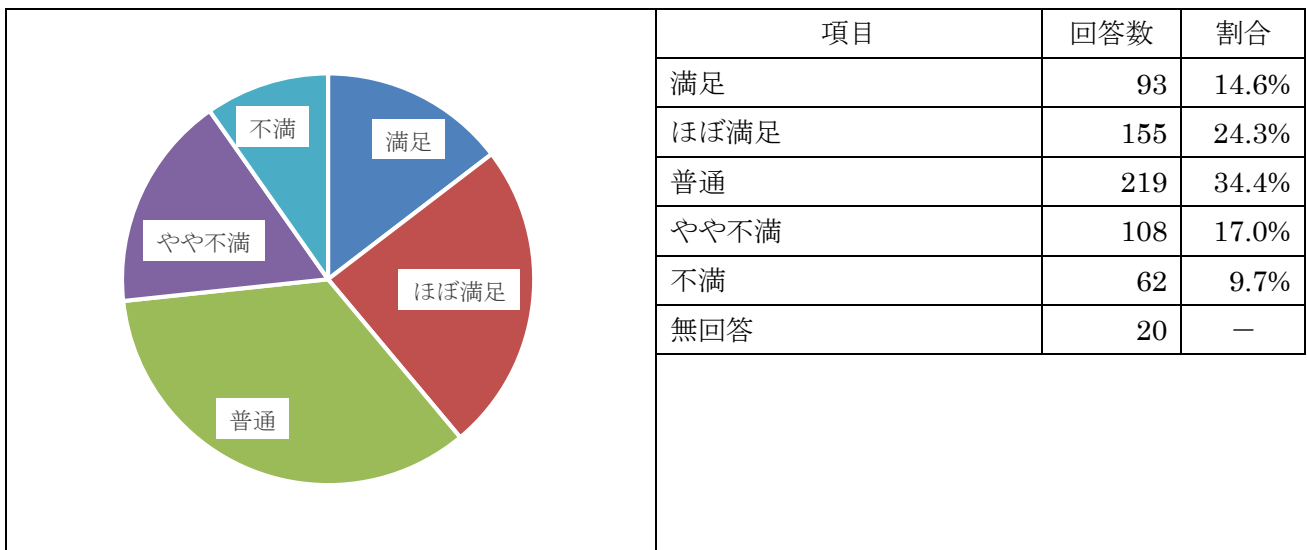
1 1 防犯性能



経年比較	H27		R3	増減
満足	7.0%	↗	8.3%	1.3%
ほぼ満足	13.5%	↗	14.9%	1.4%
普通	50.6%	↘	47.3%	-3.3%
やや不満	19.6%	↗	21.7%	2.1%
不満	9.3%	↘	7.8%	-1.5%

「普通」が約5割近くを占め、「満足」「ほぼ満足」の合計を「不満」「やや不満」の合計が上回っていた。経年比較では「普通」がやや減少し、「満足」「ほぼ満足」「不満」がそれぞれ上昇していることから、両極化の進行が確認できた。

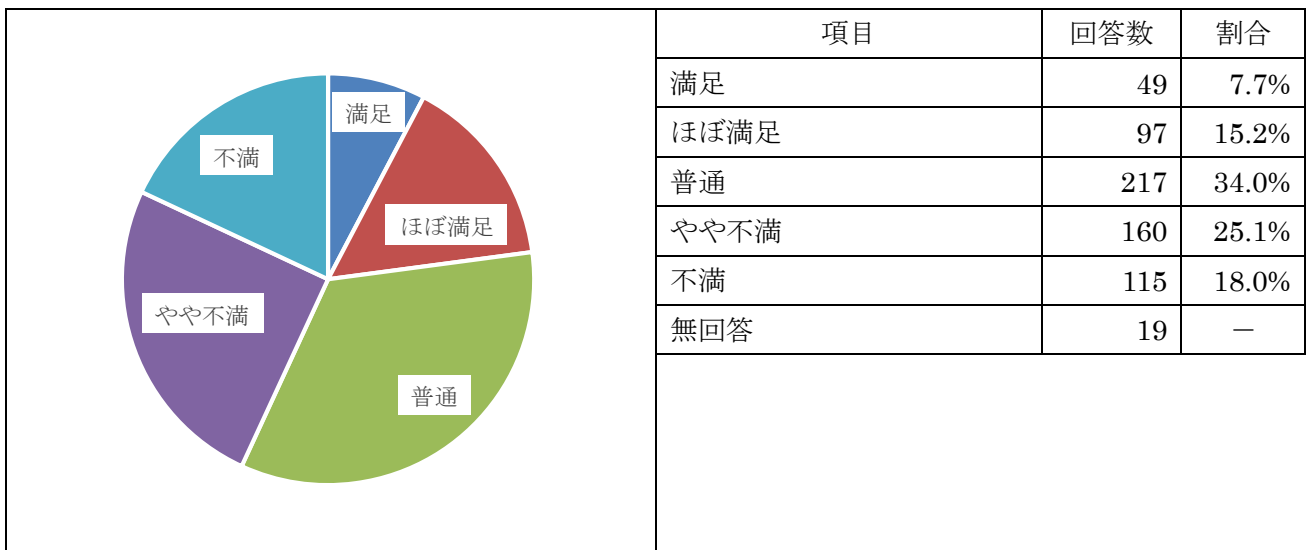
1 2 台所・風呂・トイレなどの設備



経年比較	H27		R3	増減
満足	15.0%	→	14.6%	-0.4%
ほぼ満足	20.8%	↗	24.3%	3.5%
普通	36.6%	↘	34.4%	-2.2%
やや不満	17.8%	→	17.0%	-0.9%
不満	9.8%	→	9.7%	-0.1%

「満足」「ほぼ満足」の合計が4割近くになっており、全体としては満足傾向である。経年比較においては、「普通」が減少し「ほぼ満足」が増加しており、改善傾向が見られた。

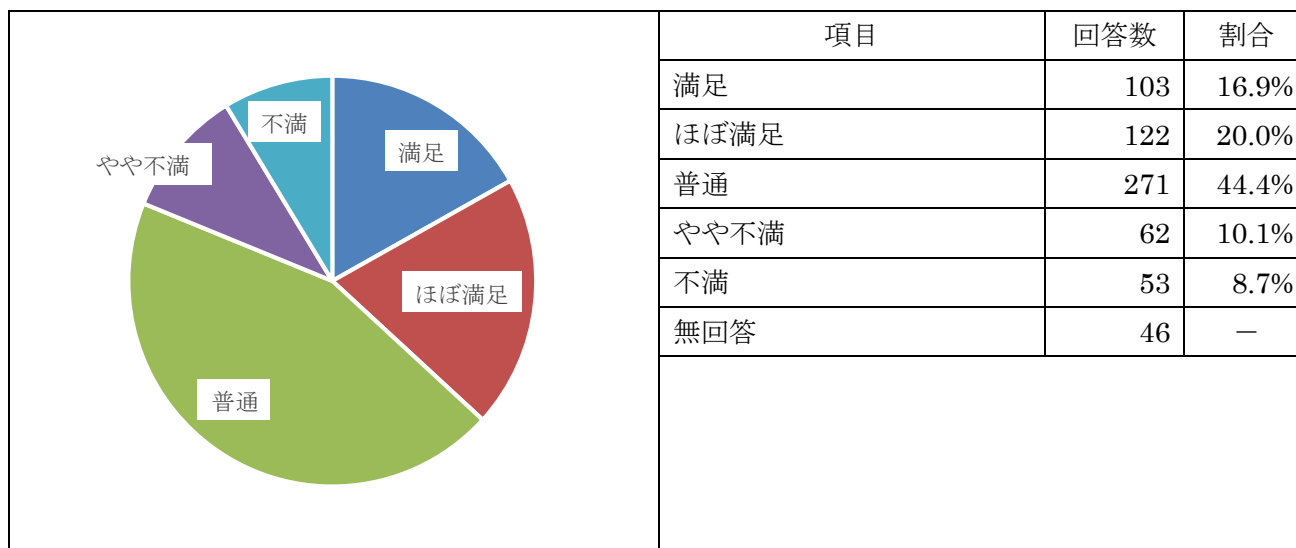
1.3 雪への備え



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.6%	→	7.7%	-0.9%
ほぼ満足	14.4%	→	15.2%	0.8%
普通	37.4%	↓	34.0%	-3.3%
やや不満	27.0%	↓	25.1%	-1.9%
不満	12.6%	↑	18.0%	5.4%

「不満」「やや不満」の合計が4割を超えており、不満傾向が強い。経年比較では、「普通」「やや不満」が減少し、「不満」が増加していることから、悪化傾向が見られた。

1 4 インターネットなど通信環境

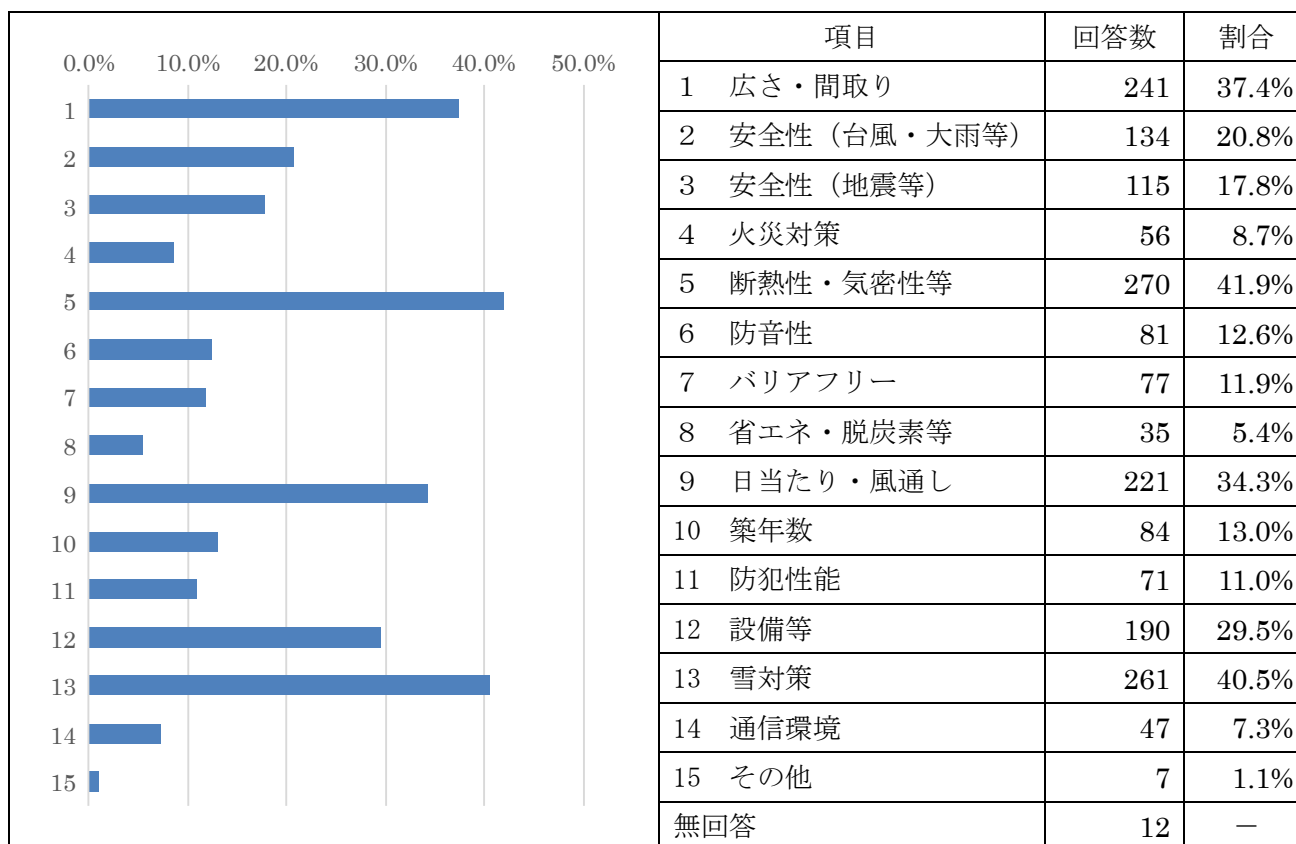


昨今のオンライン化推進の風潮を踏まえ、新規調査項目とした。「普通」が優位で全体の4割強、「満足」「ほぼ満足」の合計が約4割、「不満」「やや不満」の合計が約2割という結果となった。

Q5 住宅に求めるもの

○あなたが住宅に求めるものの中で優先度の高いものはどれですか。3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住宅の広さ・間取り | 2. 台風・大雨などに対する安全性 |
| 3. 地震などに対する安全性 | 4. 火災に対する備え |
| 5. 断熱性や気密性（防寒・防暑） | 6. 防音性 |
| 7. バリアフリー対応 | 8. 省エネや脱炭素などの環境への配慮 |
| 9. 日当たり・風通し | 10. 築年数 |
| 11. 防犯性能 | 12. 台所・風呂・トイレなどの設備 |
| 13. 雪への備え | 14. インターネットなど通信環境 |
| 15. その他 | |



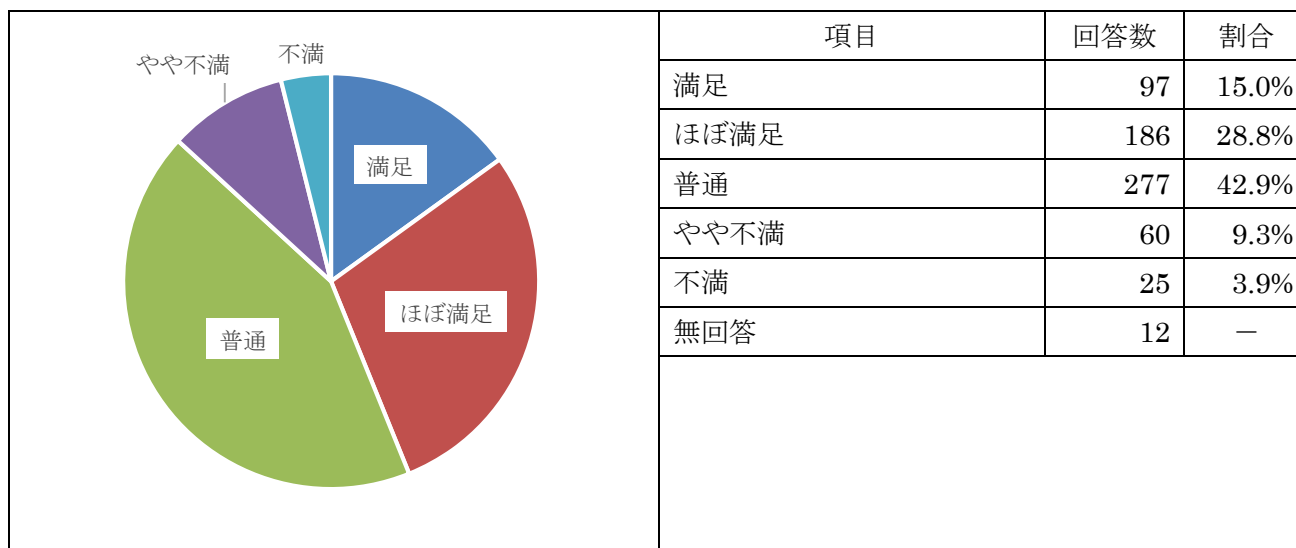
経年比較	H27		R3	増減
1 広さ・間取り	42.3%	↓	37.4%	-4.9%
2 安全性（台風・大雨等）	12.6%	↑	20.8%	8.2%
3 安全性（地震等）	13.8%	↑	17.8%	4.0%
4 火災対策	5.0%	↑	8.7%	3.7%
5 断熱性・気密性等	43.5%	↓	41.9%	-1.6%
6 防音性	—	—	12.6%	12.6%
7 バリアフリー	18.5%	↓	11.9%	-6.5%
8 省エネ・脱炭素等	13.6%	↓	5.4%	-8.2%
9 日当たり・風通し	50.5%	↓	34.3%	-16.2%
10 築年数	7.1%	↑	13.0%	5.9%
11 防犯性能	10.6%	→	11.0%	0.4%
12 設備等	23.8%	↑	29.5%	5.7%
13 雪対策	51.8%	↓	40.5%	-11.4%
14 通信環境	—	—	7.3%	7.3%
15 その他	1.8%	→	1.1%	-0.7%

新たに「防音性」「インターネットなど通信環境」を選択肢に追加し、結果はそれぞれ 12.6%、7.3%であった。R3 の結果において 30%を超えた選択肢は上位から順に「断熱性や気密性（防寒・防暑）」「雪への備え」「住宅の広さ・間取り」「日当たり・風通し」となっており、すべて H27 でも 30%を超えるなど、変わらず重要度が高い一方で、4 肢ともに H27 から数値を落としていた。

Q6 地域の住環境について

○今お住まいの「地域」について、どのように感じていますか。項目ごとに、どれか1つに○を記入してください。(満足 ほぼ満足 普通 やや不満 不満)

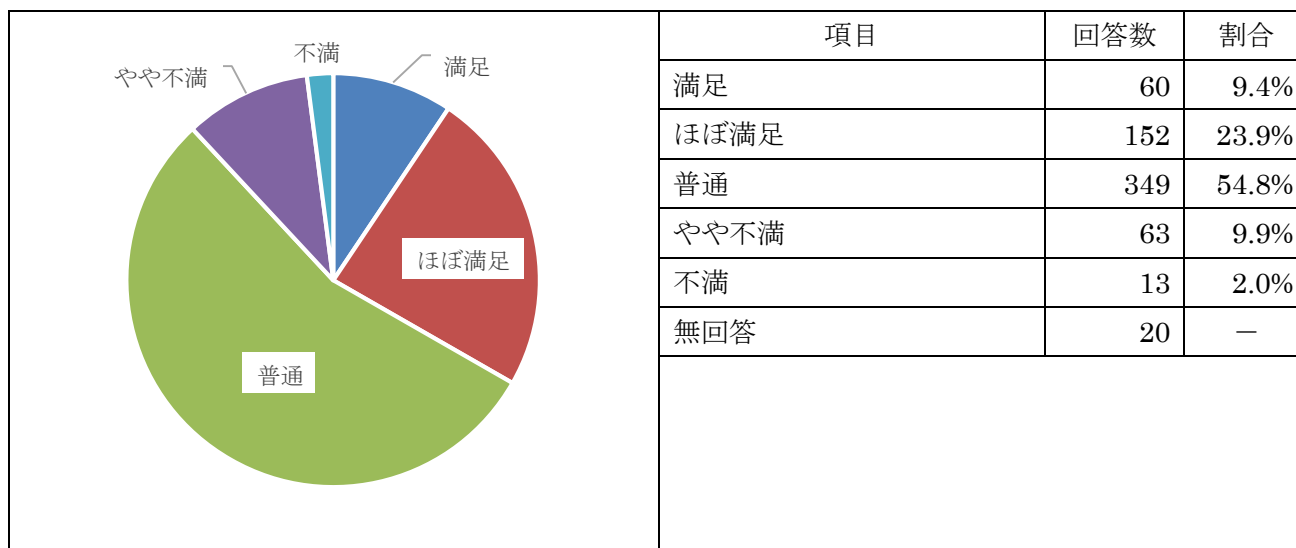
1 病院・福祉サービスの便利さ



経年比較	H27		R3	増減
満足	13.1%	↗	15.0%	2.0%
ほぼ満足	28.4%	→	28.8%	0.4%
普通	46.6%	↘	42.9%	-3.6%
やや不満	8.7%	→	9.3%	0.6%
不満	3.3%	→	3.9%	0.6%

「普通」が約4割、「満足」「ほぼ満足」の合計も約4割となっており、総じて満足傾向であった。経年比較では、大幅な増減ではないものの、「満足」が増加していた。

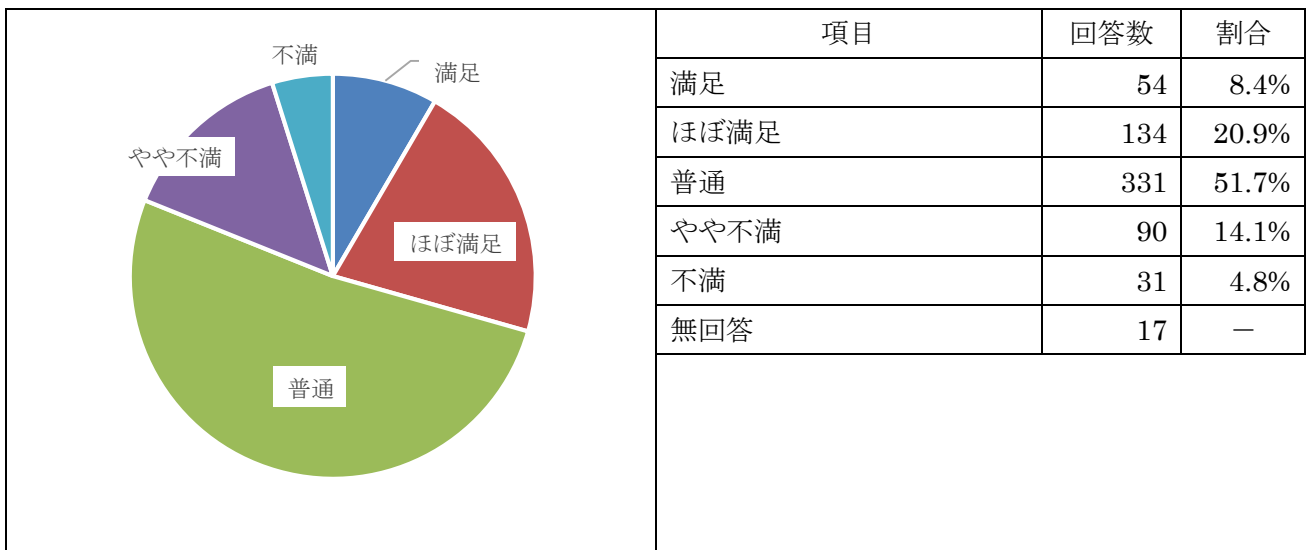
2 治安や防犯性



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.5%	↗	9.4%	1.0%
ほぼ満足	21.9%	↗	23.9%	1.9%
普通	55.4%	→	54.8%	-0.7%
やや不満	11.6%	↘	9.9%	-1.7%
不満	2.6%	→	2.0%	-0.5%

「普通」が約半数を占めていた。「満足」「ほぼ満足」の合計は「不満」「やや不満」の合計を上回っており、満足が優位である。経年比較では、「満足」「ほぼ満足」が計約3%増加しており、わずかではあるが改善傾向が見られた。

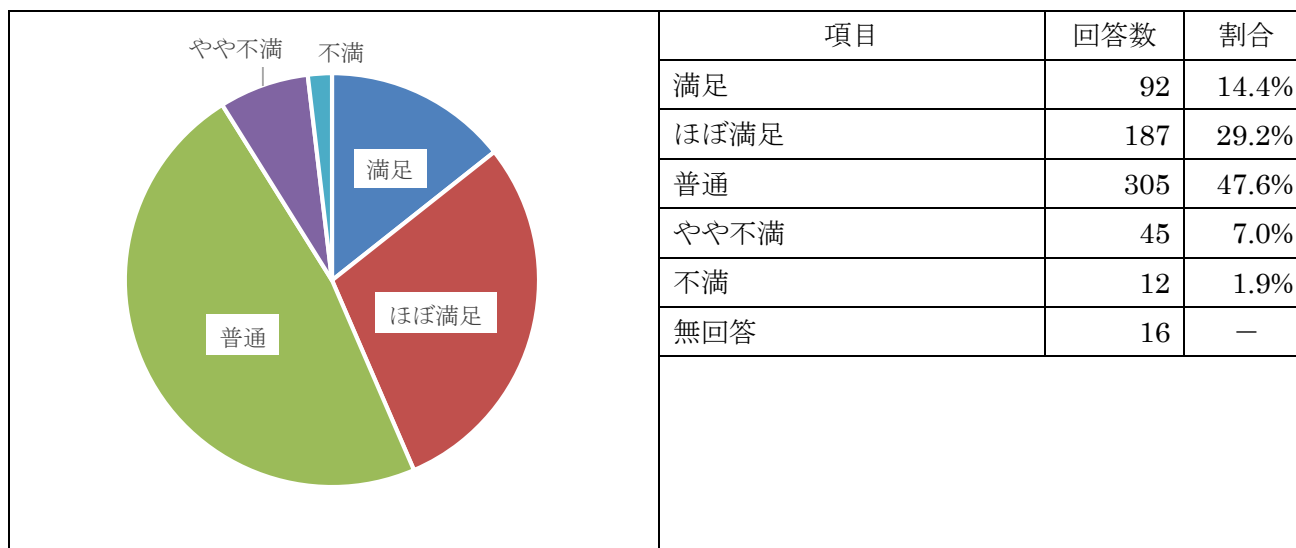
3 地震・火災・水害等に対する安全性



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.0%	→	8.4%	0.4%
ほぼ満足	16.7%	↗	20.9%	4.3%
普通	59.9%	↘	51.7%	-8.2%
やや不満	12.9%	↗	14.1%	1.1%
不満	2.4%	↗	4.8%	2.4%

「普通」が約半数となっている。経年比較において「普通」が減少し、「ほぼ満足」と「不満・やや不満」がほぼ均等に増加していることから、両極化の進行が見られた。

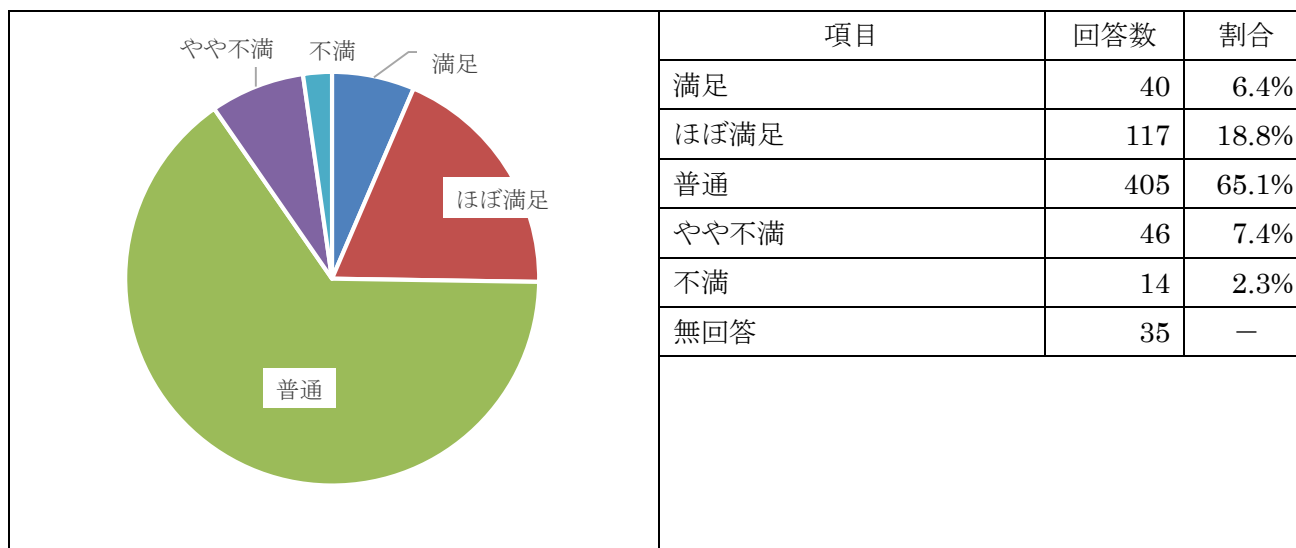
4 自然・公園や緑



経年比較	H27		R3	増減
満足	15.0%	→	14.4%	-0.6%
ほぼ満足	27.8%	↗	29.2%	1.4%
普通	44.6%	↗	47.6%	3.0%
やや不満	10.9%	↘	7.0%	-3.9%
不満	1.7%	→	1.9%	0.1%

「普通」が約半数、「満足」「ほぼ満足」が約4割と、総じて満足傾向が見られた。経年比較においても、「やや不満」が減少し「普通」「ほぼ満足」が増加していることから、改善傾向が見られた。

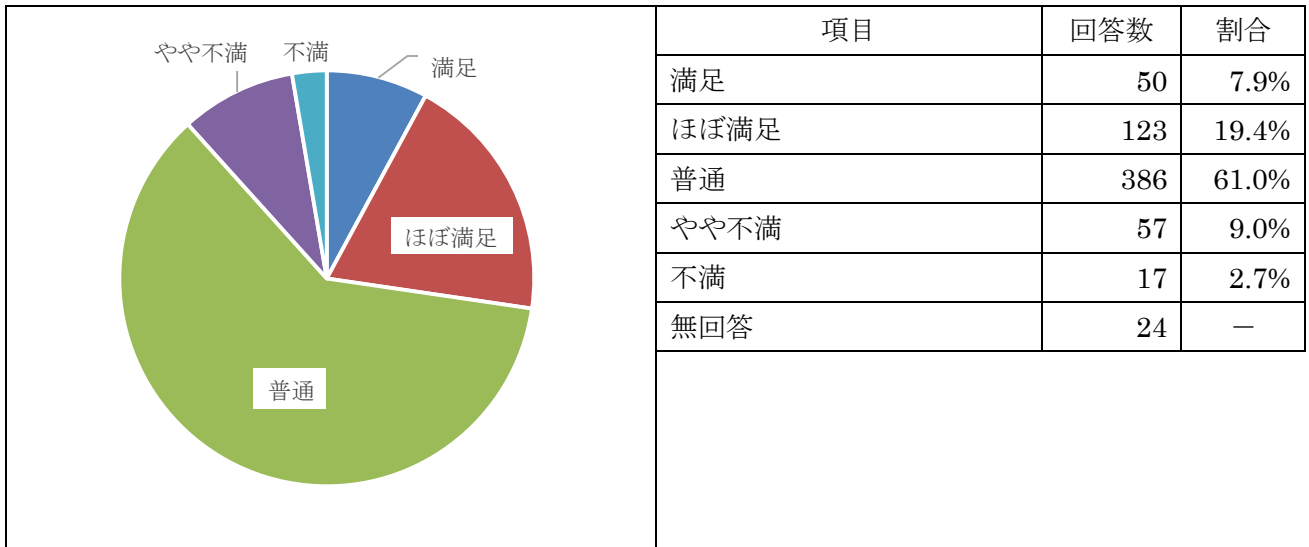
5 子育て環境



経年比較	H27		R3	増減
満足	9.7%	↓	6.4%	-3.2%
ほぼ満足	21.7%	↓	18.8%	-2.9%
普通	58.3%	↑	65.1%	6.8%
やや不満	8.0%	→	7.4%	-0.6%
不満	2.2%	→	2.3%	0.0%

「普通」が6割以上を占めていた。「満足」「ほぼ満足」の合計は「不満」「やや不満」の合計を上回っていたものの、経年比較では「満足」「ほぼ満足」が減少し「普通」が増加するなど、悪化傾向が見られた。

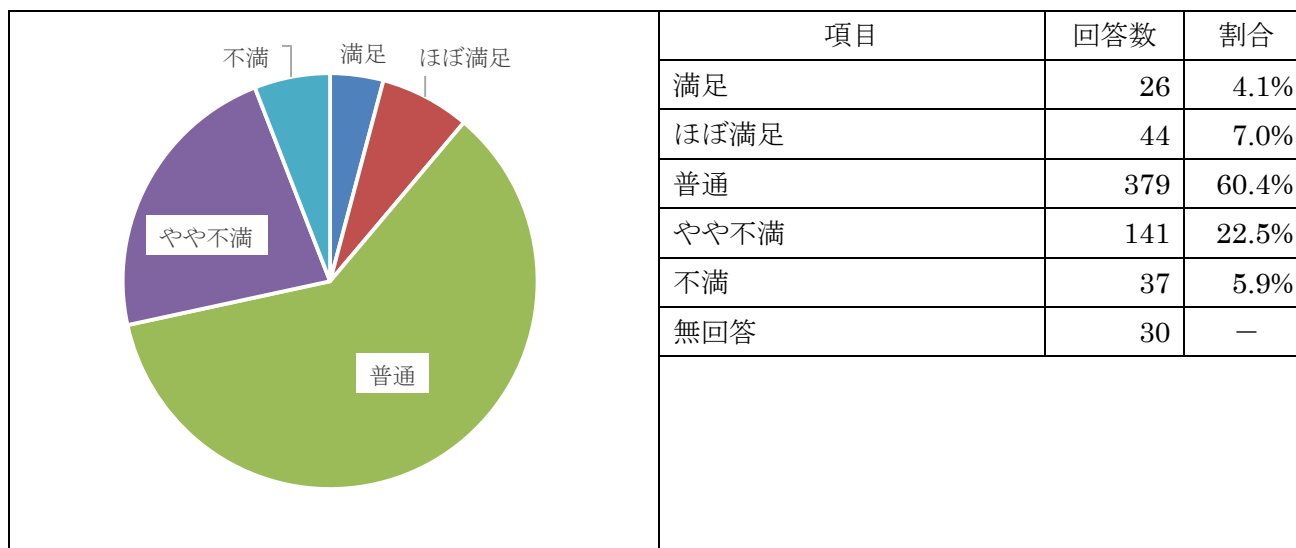
6 まちなみ・景観



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.7%	→	7.9%	-0.8%
ほぼ満足	19.5%	→	19.4%	-0.0%
普通	60.2%	→	61.0%	0.8%
やや不満	9.5%	→	9.0%	-0.5%
不満	2.2%	→	2.7%	0.5%

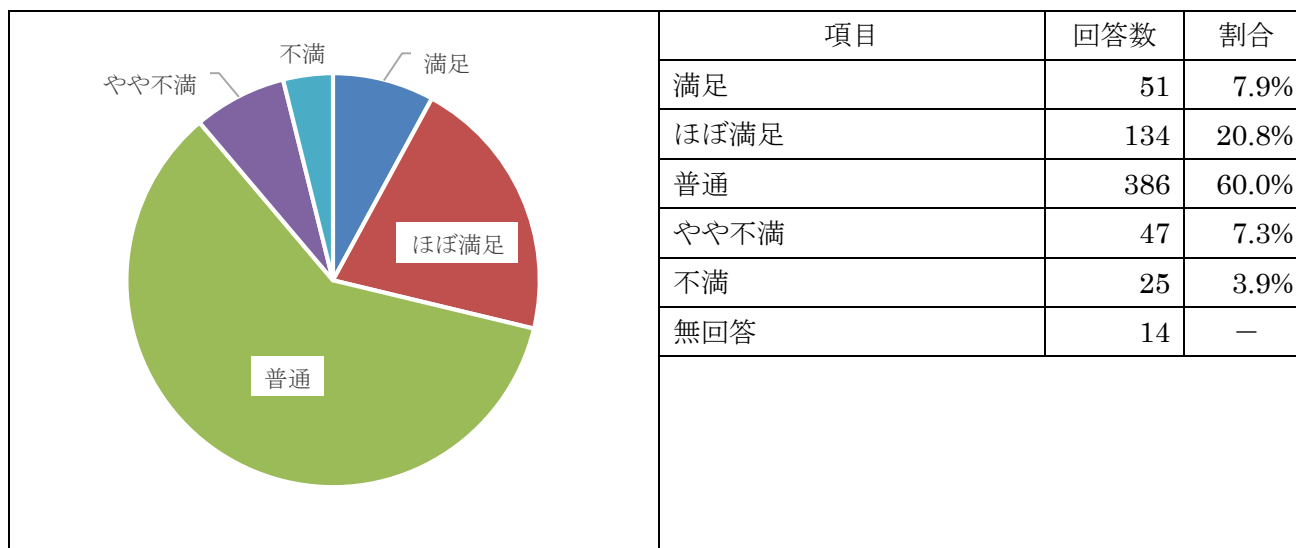
「普通」が6割以上を占めていた。また、経年での変化もほとんど見られなかった。

7 バリアフリー環境



R3で新規項目に追加した。「普通」が6割を占め、次いで「やや不満」が約2割であった。「満足」「ほぼ満足」の合計がこれに満たないことから、総じて不満優位の結果となった。

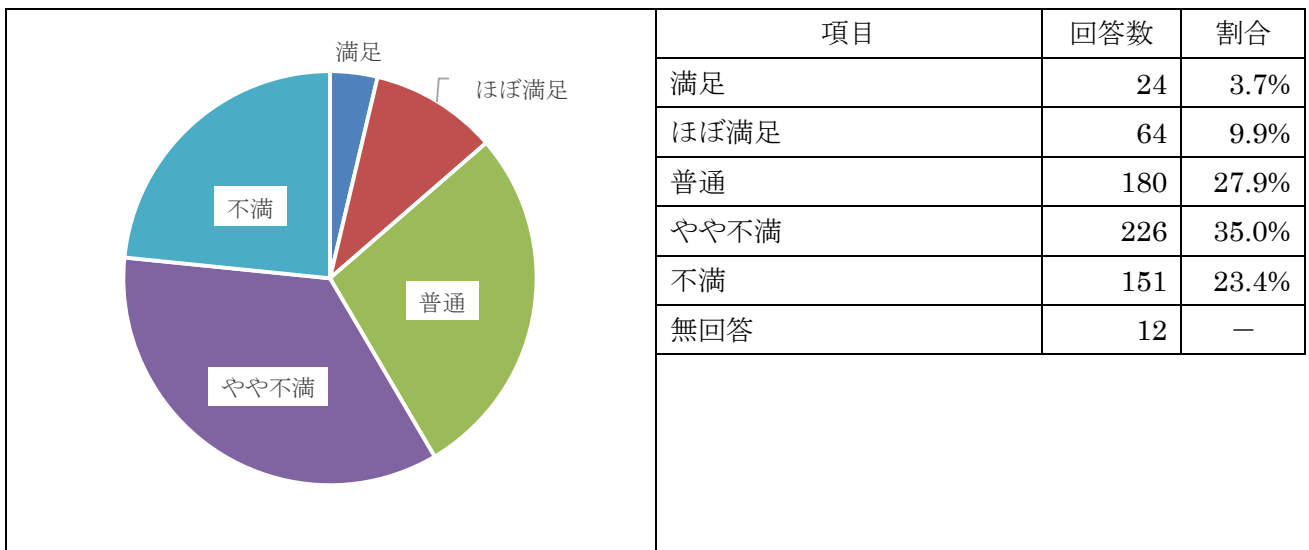
8 周囲の人間関係（近隣関係・自治会など）



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.3%	→	7.9%	-0.4%
ほぼ満足	19.0%	↗	20.8%	1.8%
普通	58.8%	↗	60.0%	1.2%
やや不満	10.0%	↘	7.3%	-2.7%
不満	3.9%	→	3.9%	0.0%

「普通」が6割を占めていた。「満足」「ほぼ満足」の合計は「不満」「やや不満」の合計を上回っており、経年比較では3%足らずとわずかではあるが、改善傾向が見られた。

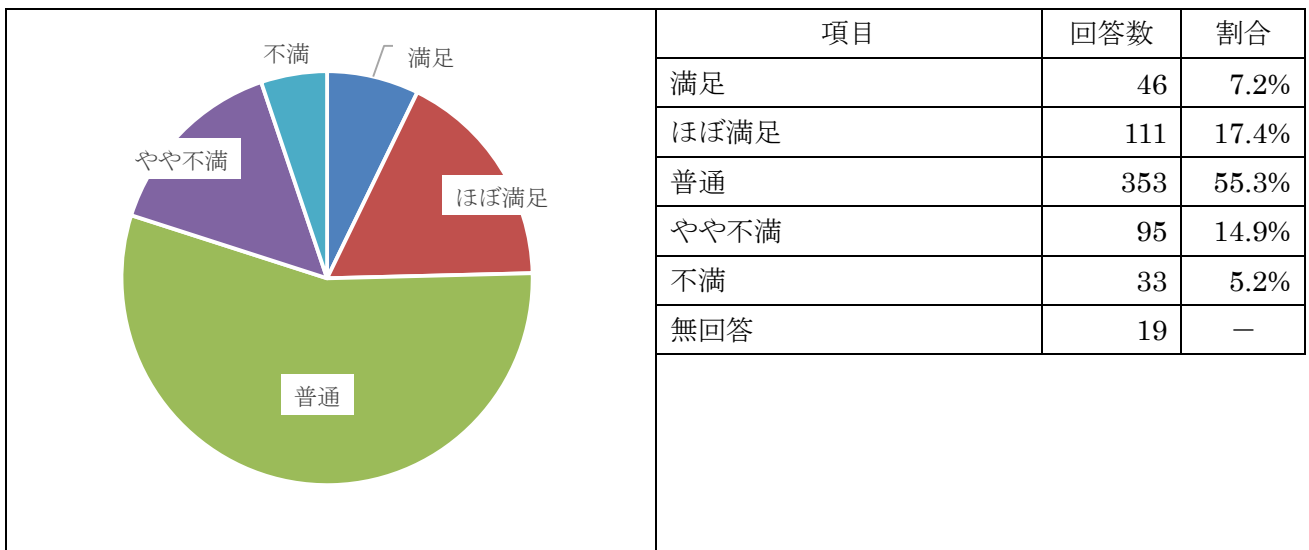
9 雪対策



経年比較	H27		R3	増減
満足	4.7%	↓	3.7%	-1.0%
ほぼ満足	12.6%	↓	9.9%	-2.7%
普通	34.8%	↓	27.9%	-6.9%
やや不満	30.2%	↑	35.0%	4.9%
不満	17.7%	↑	23.4%	5.7%

「不満」「やや不満」の合計が約6割を占め、不満傾向が強い結果となった。経年比較でも「不満」「やや不満」の合計が約1割増加していた。

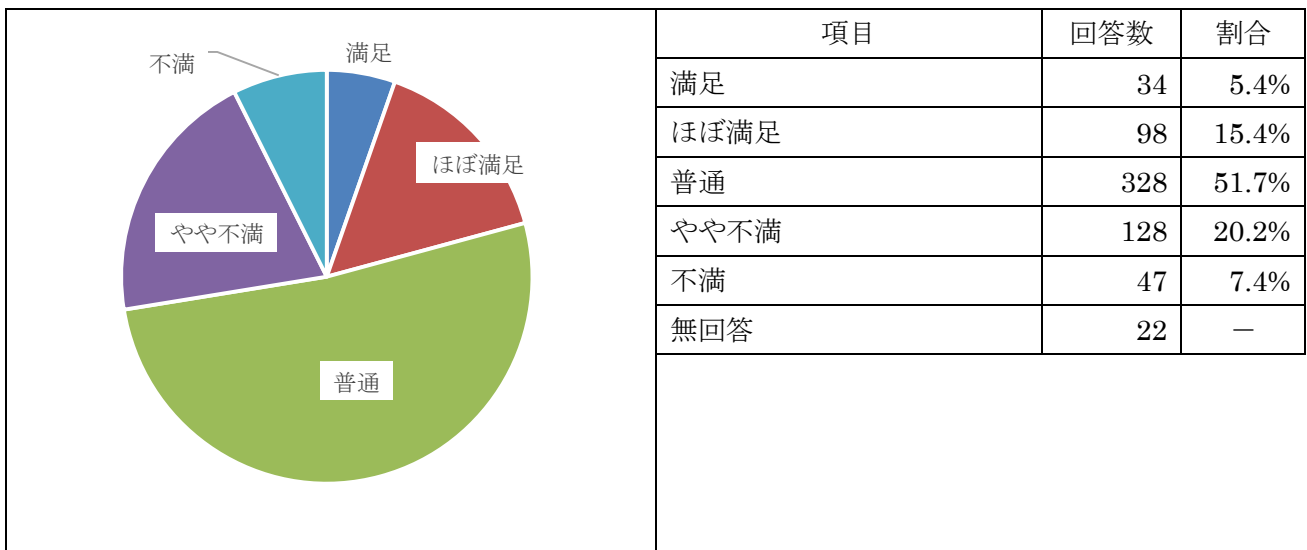
10 騒音



経年比較	H27		R3	増減
満足	12.3%	↓	7.2%	-5.1%
ほぼ満足	25.2%	↓	17.4%	-7.8%
普通	44.8%	↑	55.3%	10.6%
やや不満	12.6%	↑	14.9%	2.3%
不満	5.2%	→	5.2%	0.0%

「普通」が過半数となっており、「満足」「不満」と「ほぼ満足」「やや不満」もそれぞれ均衡していた。経年比較では、「満足」「ほぼ満足」が計約13%減少し、「普通」「やや不満」が増加したことから、悪化傾向が見られた。

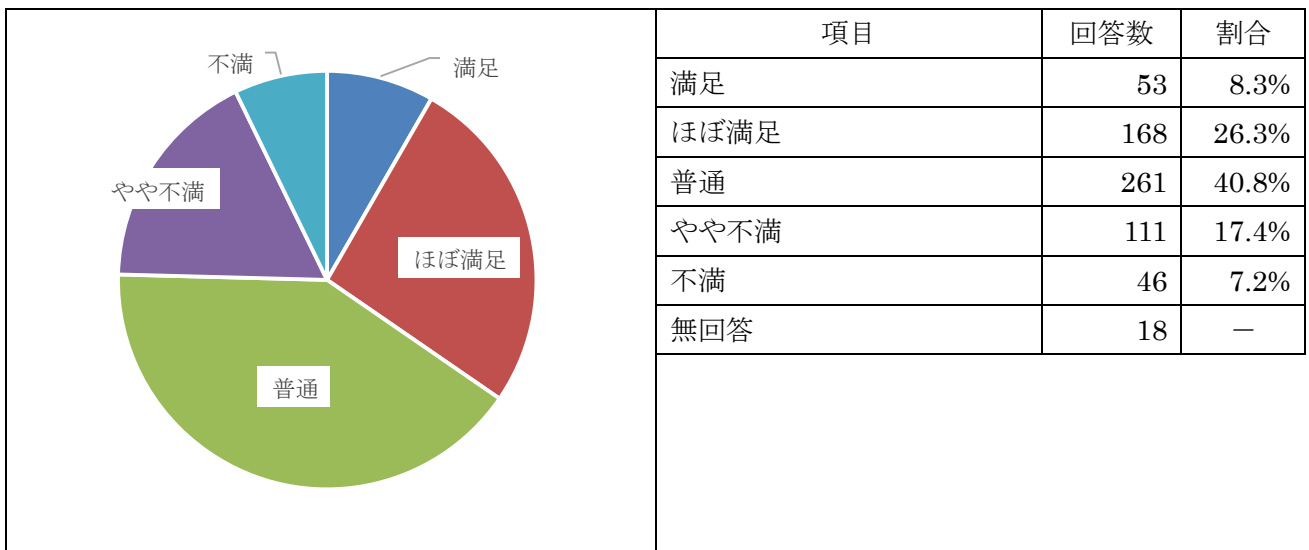
1 1 道路の安全性



経年比較	H27		R3	増減
満足	8.9%	↓	5.4%	-3.5%
ほぼ満足	18.7%	↓	15.4%	-3.2%
普通	51.1%	→	51.7%	0.6%
やや不満	17.4%	↑	20.2%	2.8%
不満	4.0%	↑	7.4%	3.4%

「普通」が約半数となっている。H27でも普通が過半であったものの、「満足」「ほぼ満足」の合計が「不満」「やや不満」の合計を上回っていたのが、R3では逆転しており、不満傾向が強くなっていた。

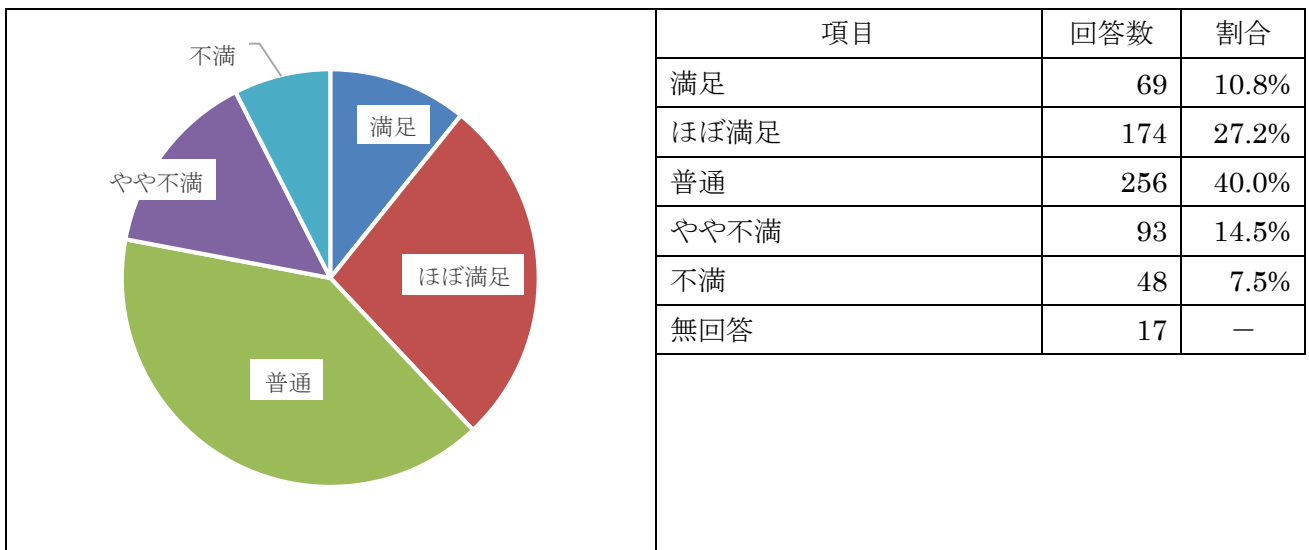
1 2 交通の便利さ（通勤・通学・通院など）



経年比較	H27		R3	増減
満足	10.5%	↓	8.3%	-2.2%
ほぼ満足	24.7%	↑	26.3%	1.6%
普通	50.0%	↓	40.8%	-9.2%
やや不満	10.2%	↑	17.4%	7.2%
不満	4.6%	↑	7.2%	2.6%

「普通」が約4割であり、「満足」「ほぼ満足」の合計が「不満」「やや不満」の合計を上回っていたことから、満足側が優位であった。一方で経年比較では、「満足」「普通」が減少し、「不満」「やや不満」が計約1割増加しているため、悪化傾向が見られた。

1.3 買い物の便利さ



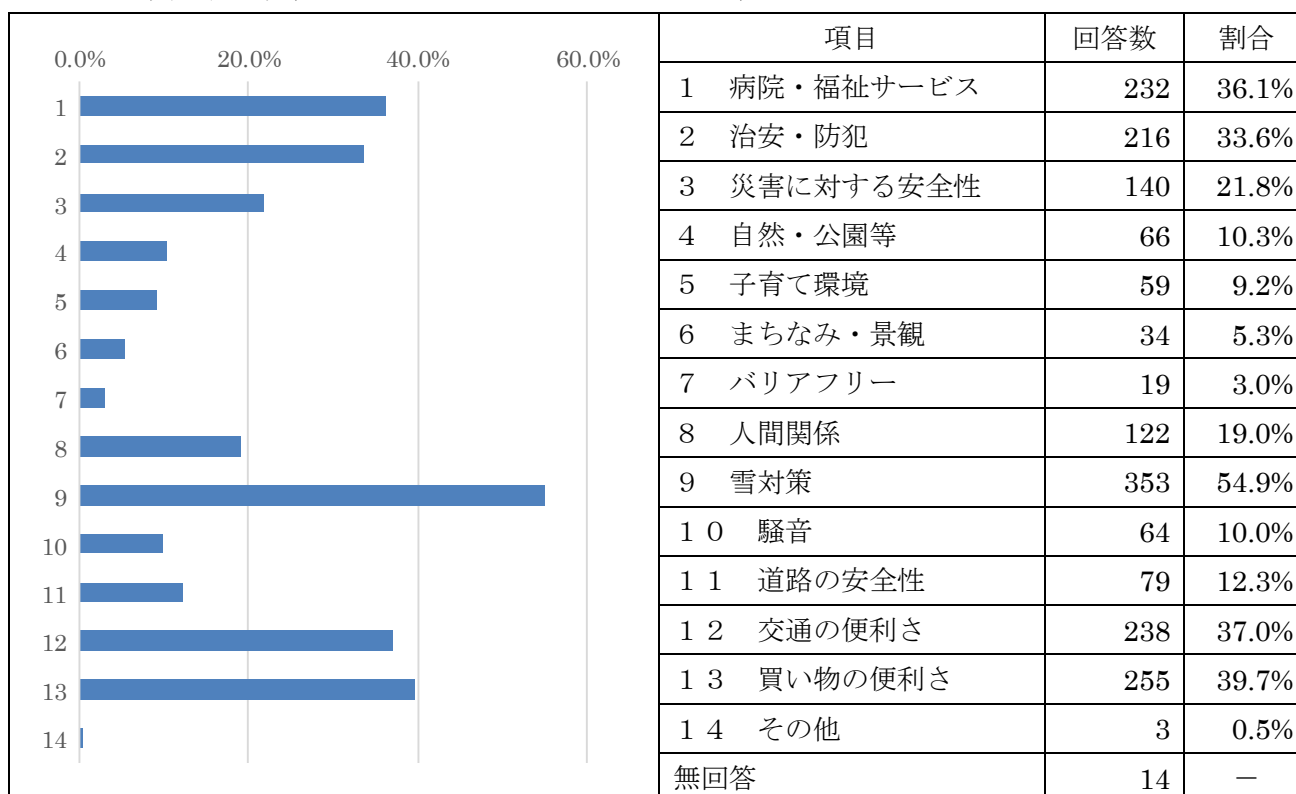
経年比較	H27		R3	増減
満足	13.8%	↓	10.8%	-3.1%
ほぼ満足	26.2%	→	27.2%	0.9%
普通	38.7%	↑	40.0%	1.3%
やや不満	15.0%	→	14.5%	-0.4%
不満	6.3%	↑	7.5%	1.2%

「普通」が4割となっている。「満足」「ほぼ満足」の合計は「不満」「やや不満」を上回っているが、悪化傾向が見られた。

Q7 住環境に求めるもの

○あなたが住環境に求めるものの中で優先度の高いものはどれですか。3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 病院・福祉サービスの便利さ | 2. 治安や防犯性 |
| 3. 地震・火災・水害等に対する安全性 | 4. 自然・公園や緑 |
| 5. 子育て環境 | 6. まちなみ・景観 |
| 7. バリアフリー環境 | 8. 周囲の人間関係（近隣関係・自治会など） |
| 9. 雪対策 | 10. 騒音 |
| 11. 道路の安全性 | 12. 交通の便利さ（通勤・通学・通院など） |
| 13. 買い物の便利さ | 14. その他 |



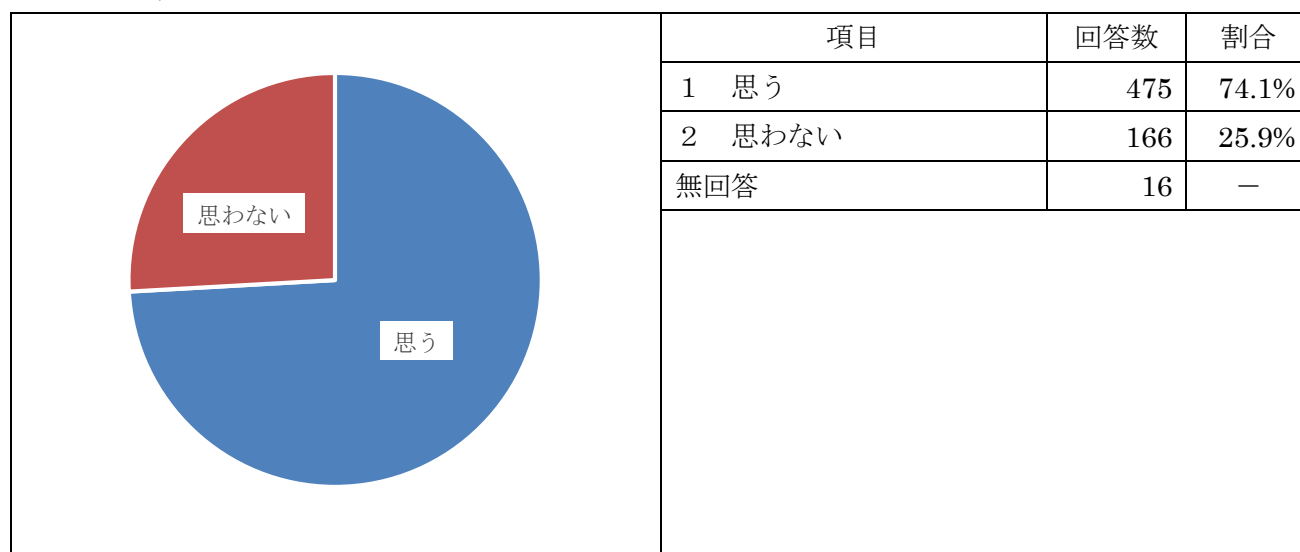
経年比較	H27		R3	増減
1 病院・福祉サービス	45.3%	↓	36.1%	-9.2%
2 治安・防犯	30.1%	↑	33.6%	3.5%
3 災害に対する安全性	12.4%	↑	21.8%	9.3%
4 自然・公園等	15.2%	↓	10.3%	-4.9%
5 子育て環境	13.6%	↓	9.2%	-4.4%
6 まちなみ・景観	5.8%	→	5.3%	-0.5%
7 バリアフリー	6.9%	↓	3.0%	-4.0%
8 人間関係	23.7%	↓	19.0%	-4.8%
9 雪対策	41.7%	↑	54.9%	13.2%
10 騒音	14.2%	↓	10.0%	-4.2%
11 道路の安全性	3.8%	↑	12.3%	8.5%
12 交通の便利さ	35.5%	↑	37.0%	1.6%
13 買い物の便利さ	44.3%	↓	39.7%	-4.6%
14 その他	0.3%	→	0.5%	0.2%

回答者のうち半数以上の方が「雪対策」を選んでいて、次いで「買い物の便利さ」「交通の便利さ」「病院・福祉サービスの便利さ」「治安や防犯性」が多く、3割を超えていた。経年比較では、「雪対策」「地震・火災・水害等に対する安全性」「道路の安全性」が比較的大きく増加していた。一方、目立った減少としては「病院・福祉サービスの便利さ」であった。

Q8 今の家に住み続けたいか

○あなたは、今のお住まいに住み続けたいと思いますか。どちらかに○をつけてください。

1. 思う 2. 思わない



経年比較	H27		R3	増減
1 思う	79.6%	↓	74.1%	-5.5%
2 思わない	20.4%	↑	25.9%	5.5%

H27 に比べ約 5%減少しているものの、約 4分の 3の方が今の家に住み続けたいと回答している。

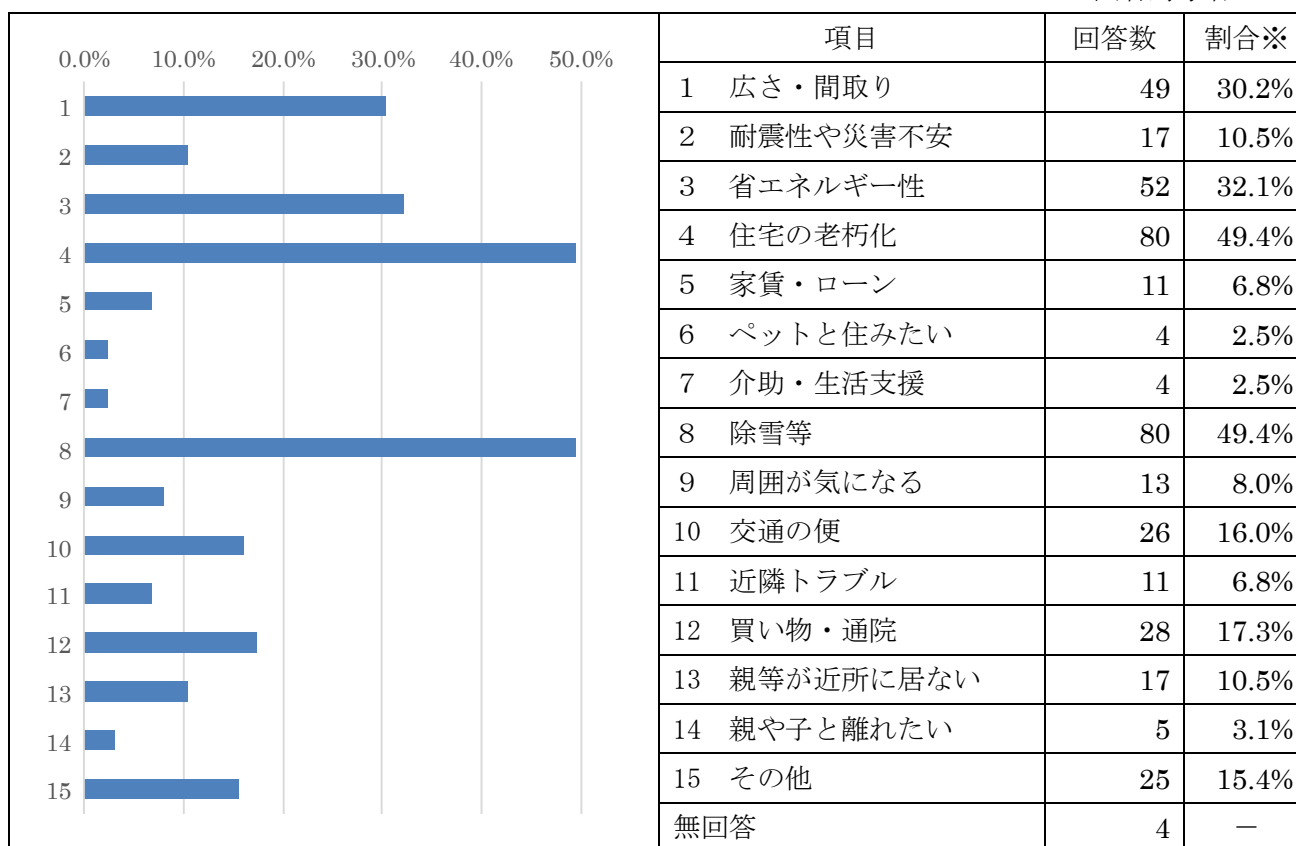
Q9 住み続けたくない理由

○Q8で「2. 思わない」と答えた方におたずねします。

住み続けたいと思わない理由はどれですか。3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 住居の広さや部屋数に不満がある | 2. 耐震性など、災害に対しての不安がある |
| 3. 省エネ性が低く、光熱費が高い | 4. 住宅が老朽化している |
| 5. 家賃（またはローン）が高い | 6. ペットと住みたい |
| 7. 身体介助や家事などの生活支援が必要 | 8. 除雪等がづらい |
| 9. 共同住宅のため、周囲が気になる | 10. 交通の便が悪い |
| 11. 近隣とのトラブルがある | 12. 買い物や通院に不便である |
| 13. 親や子・親戚・知人等が近所にいない | 14. 親や子と離れたたい |
| 15. その他 | |

回答対象者：166



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

経年比較	H27		R3	増減
1 広さ・間取り	28.5%	↗	30.2%	1.8%
2 耐震性や災害不安	5.8%	↗	10.5%	4.7%
3 省エネルギー性	11.7%	↗	32.1%	20.4%
4 住宅の老朽化	29.9%	↗	49.4%	19.5%
5 家賃・ローン	10.2%	↘	6.8%	-3.4%
6 ペットと住みたい	8.0%	↘	2.5%	-5.6%
7 介助・生活支援	10.2%	↘	2.5%	-7.7%
8 除雪等	40.1%	↗	49.4%	9.2%
9 周囲が気になる	15.3%	↘	8.0%	-7.3%
10 交通の便	27.0%	↘	16.0%	-11.0%
11 近隣トラブル	8.8%	↘	6.8%	-2.0%
12 買い物・通院	18.2%	↘	17.3%	-1.0%
13 親等が近所に居ない	9.5%	↗	10.5%	1.0%
14 親や子と離れたい	—	—	3.1%	—
15 その他	11.7%	↗	15.4%	3.8%
— 防犯性が心配	5.8%	—	—	—
— 進学・転勤がある	4.4%	—	—	—
— 保育所等が遠い	0.7%	—	—	—
— 子育て世帯がない	1.5%	—	—	—
— 近所の居住者が減った	2.2%	—	—	—

「住宅が老朽化している」「除雪等が辛い」が多く、対象者の約半数が選択していた。また、次いで「省エネ性が低く、光熱費が高い」「住居の広さや部屋数に不満がある」が多く、3割を超える結果となった。

経年比較においては、H27で回答数の少なかった5項目（計14.6%分）を削除し、新たに「親や子と離れたい」を加え、設問を見直したところ、「交通の便」「介助・生活支援」「周囲が気になる」が大きく数値を落とし、「省エネルギー性」「住宅の老朽化」が大きく数値を伸ばす結果となった。

§ 2A 住宅の修繕に関する設問 (Q10～Q11)

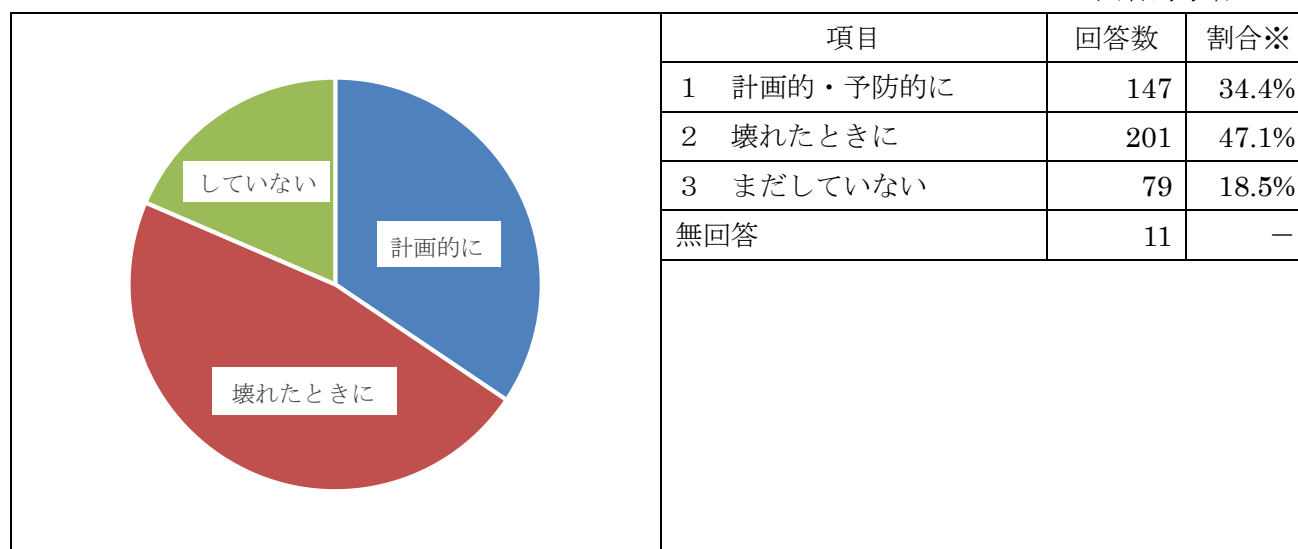
Q10・Q11はQ1で「1 持ち家（一戸建て）」と回答した方に対する設問となっている。

Q10 住宅の修繕

○住宅を修繕していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 計画的・予防的に修繕している
2. 壊れたときに修繕している
3. まだしていない

回答対象者：438



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

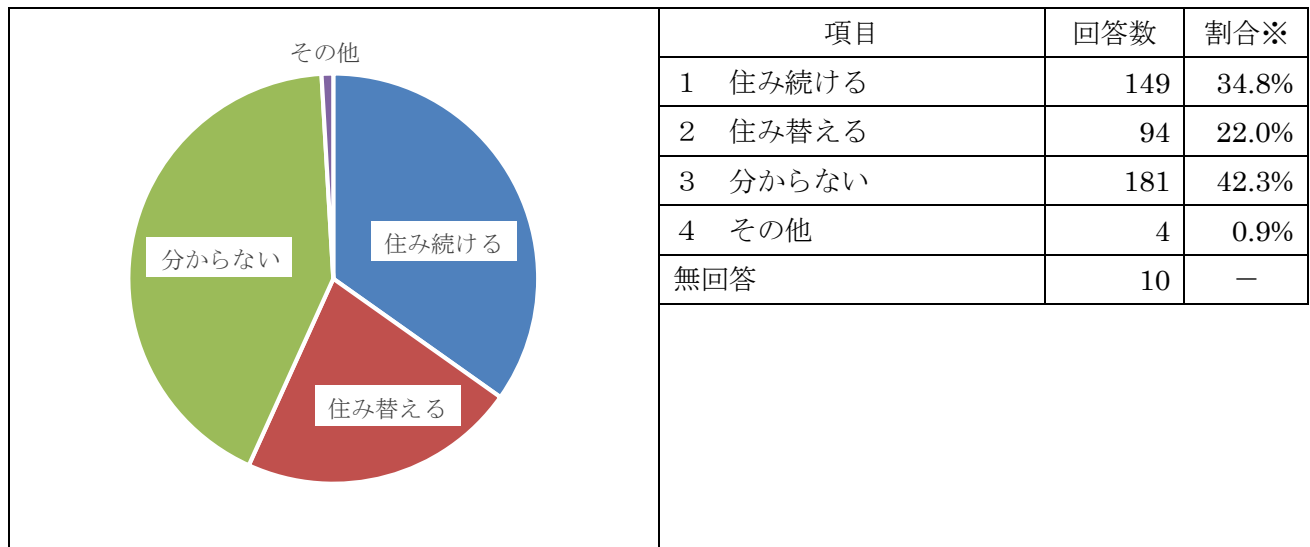
「壊れたときに修繕している」が最も多く、半数近くを占める結果となった。

Q11 住宅の今後について

○今の住宅が古くなり、住み続けることが困難になったとき、どうしますか。あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。

1. リフォームを行い、今の場所に住み続ける
2. 今の住宅を処分し、別の住宅に住み替える
3. 分からない
4. その他

回答対象者：438



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

「分からない」が約4割を占めていた。次いで「住み続ける」が多く3割強となっていた。

§ 2B マンション管理に関する設問 (Q12~Q14)

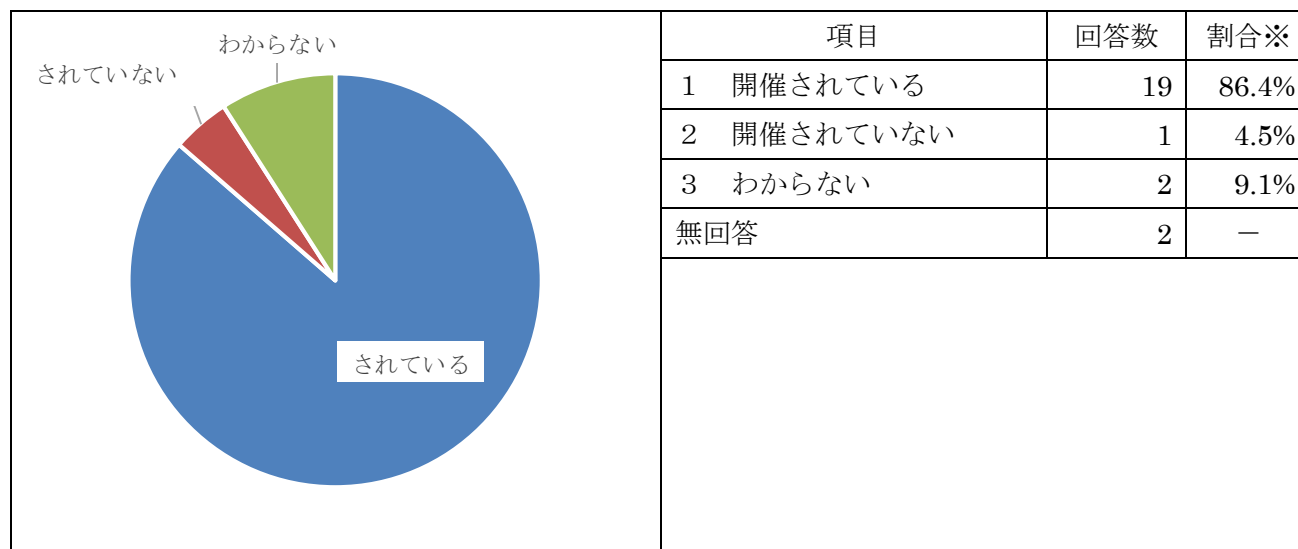
Q12~Q14はQ1で「2 持ち家 (分譲マンション)」と回答した方に対する設問となっている。

Q12 管理組合の総会の開催

○管理組合の総会は毎年1回以上開催されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 開催されている 2. 開催されていない 3. わからない

回答対象者：24



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

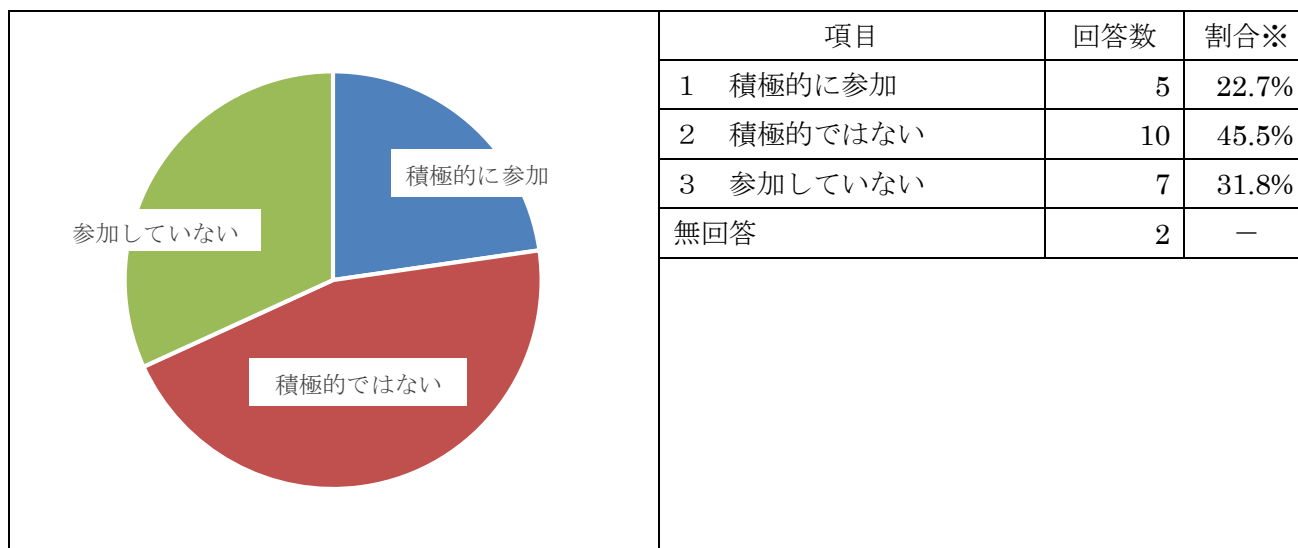
ほとんどのマンションで総会が年1回以上開催されている結果となった。次いで、回答数は2と少ないものの、「わからない」という回答が約1割あった。

Q13 管理組合の活動

○管理組合の活動に積極的に参加していますか。

1. 積極的に参加している
2. 参加はしているが積極的ではない
3. 参加していない

回答対象者：24



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

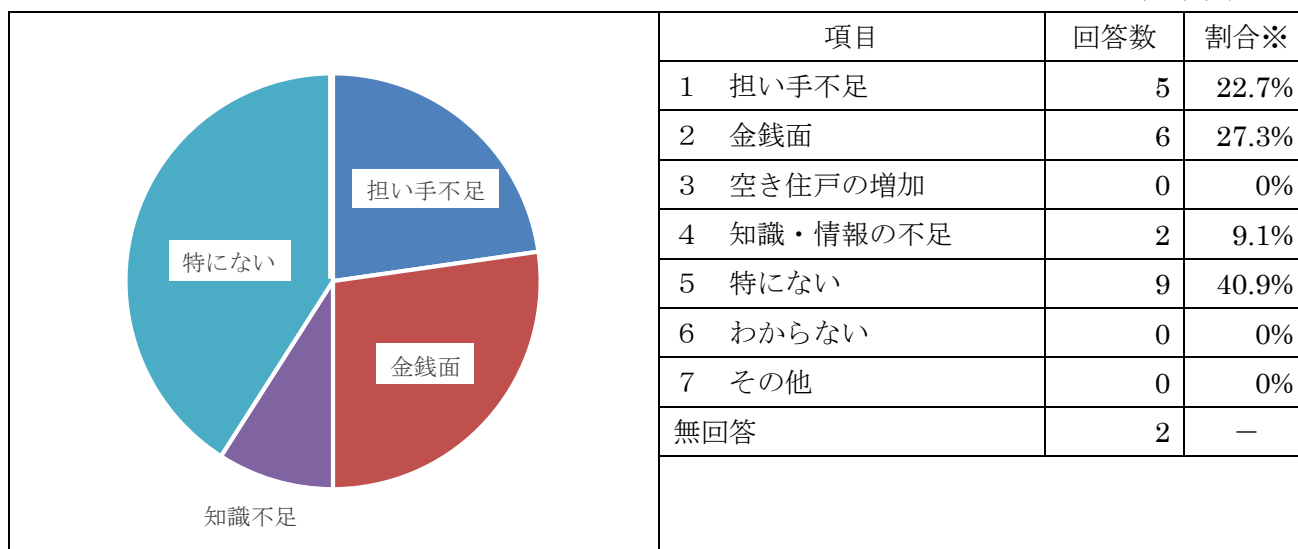
「参加はしているが積極的ではない」が最も多く、次いで「参加していない」「積極的に参加している」となっている。総じて、全体の約7割が活動に参加しており、約3割が参加していない結果となった。

Q14 マンションに関する課題

○お住まいのマンションの管理における課題のうち、最も深刻だと思えるものは何ですか。あなたの考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 管理組合役員の担い手不足 | 2. 管理費・修繕積立金など金銭面 |
| 3. 空き住戸の増加 | 4. 管理に必要な知識・情報の不足 |
| 5. 特にない | 6. わからない |
| 7. その他 | |

回答対象者：24



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

「特にない」が最も多く、全体の約4割を占めている。次いで、「管理費・修繕積立金など金銭面」「管理組合役員の担い手不足」「管理に必要な知識・情報の不足」という結果であった。

§ 2C 持ち家への住み替えに関する設問 (Q15~Q17)

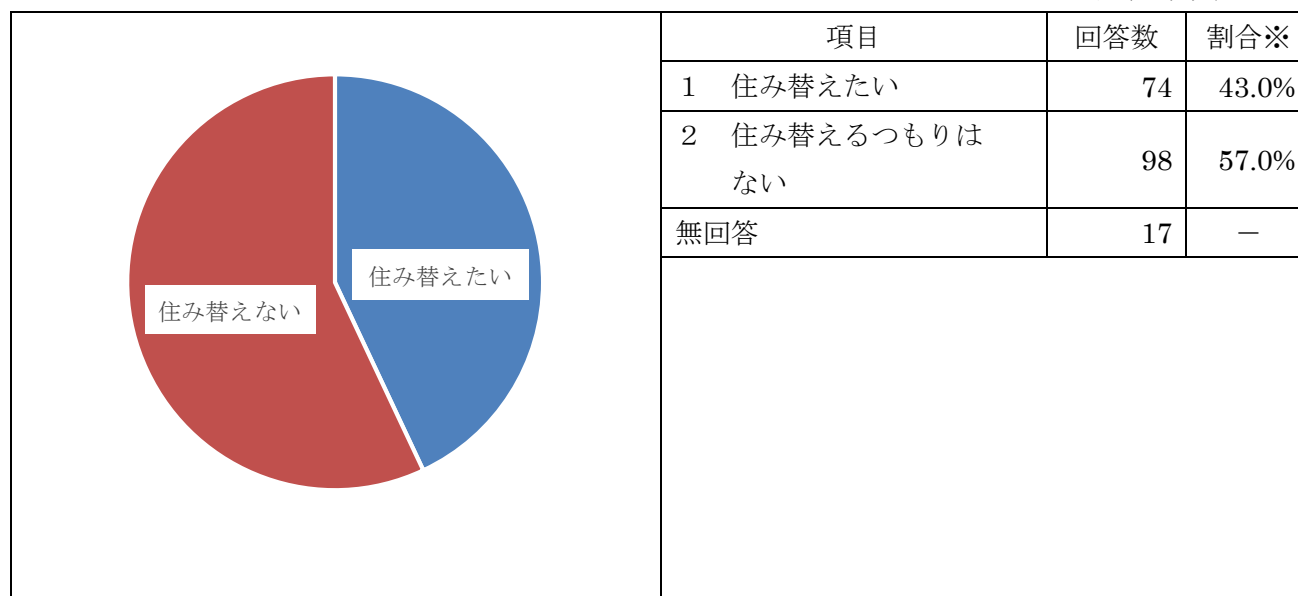
Q15~Q17はQ1で「1 持ち家(一戸建て)」「2 持ち家(分譲マンション)」以外の回答をした方に対する設問となっている。

Q15 持ち家への住み替え希望

○将来的に持ち家に住み替えたいですか。どちらかに○をつけてください。

1. 持ち家に住み替えたい
2. 持ち家に住み替えるつもりはない

回答対象者：189



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

「住み替えたい」が43.0%、「住み替えるつもりはない」が57.0%と、「住み替えるつもりはない」が上回る結果となった。

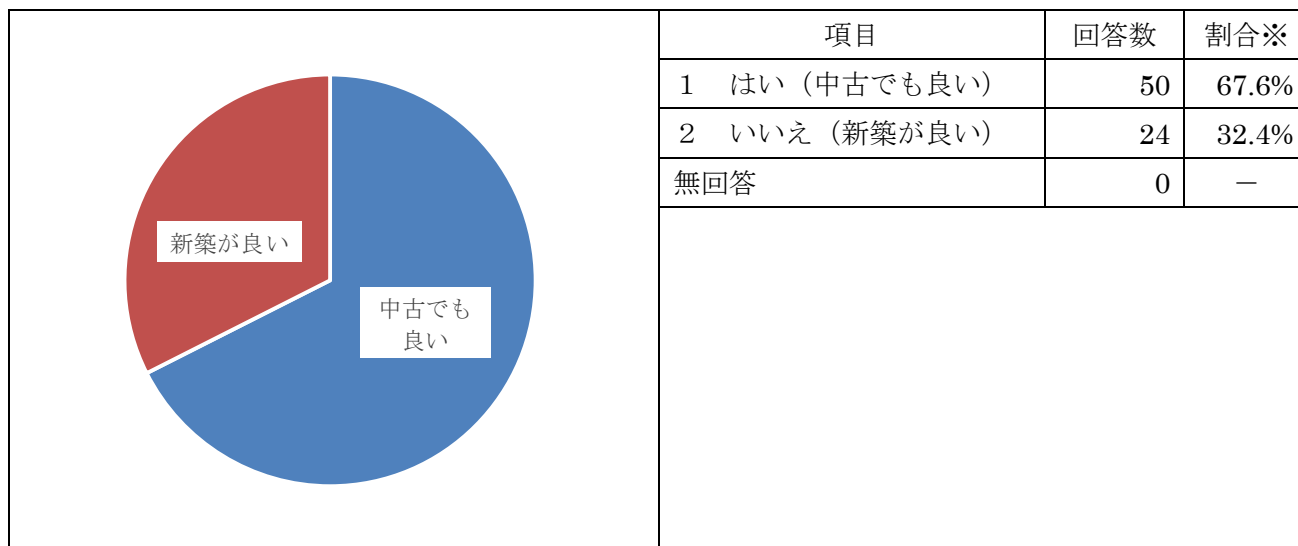
Q16 中古住宅の取得について

○Q15で「1. 持ち家に住み替えたい」と答えた方におたずねします。

取得する住宅は中古住宅でも良いですか。どちらかに○をつけてください。

1. はい（中古でも良い）
2. いいえ（新築住宅が良い）

回答対象者：74



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

経年比較	H27		R3	増減
1 はい（中古でも良い）	55.4%	↑	67.6%	12.2%
2 いいえ（新築が良い）	44.6%	↓	32.4%	-12.2%

※H27では全員回答する設問であったが、R3と同等の条件で再集計している。

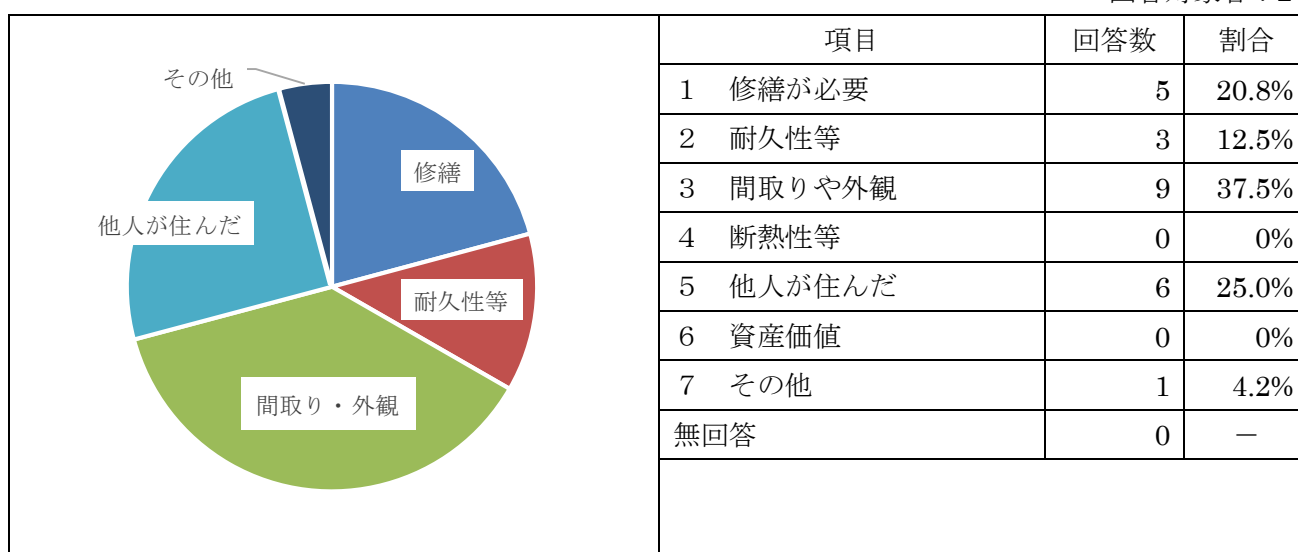
「中古でも良い」が3分の2を超え、「新築が良い」を上回る結果となった。経年比較においても、「中古でも良い」が12%程度増加する結果となった。

Q17 新築が良い理由

○Q16で「2. いいえ（新築住宅が良い）」と答えた方におたずねします。中古住宅を希望しない理由は何ですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. すぐにリフォームや修繕が必要となりそうだから
2. 耐久性や耐震性に不安があるから
3. 間取りや外観など、希望の住宅が見つかりにくいから
4. 断熱性能や省エネルギー性能が低そうだから
5. 他人が住んだ住宅だから
6. 資産価値が低そうだから
7. その他

回答対象者：24



※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

経年比較	H27		R3	増減
1 修繕が必要	28.6%	↓	20.8%	-7.7%
2 耐久性等	25.0%	↓	12.5%	-12.5%
3 間取りや外観	32.1%	↑	37.5%	5.4%
4 断熱性等	7.1%	↓	0%	-7.1%
5 他人が住んだ	3.6%	↑	25.0%	21.4%
6 資産価値	0%	→	0%	0%
7 その他	3.6%	→	4.2%	0.6%

※H27 では前問で「新築が良い」を選んだ全員が回答する設問であったが、R3 と同等の条件で再集計している。

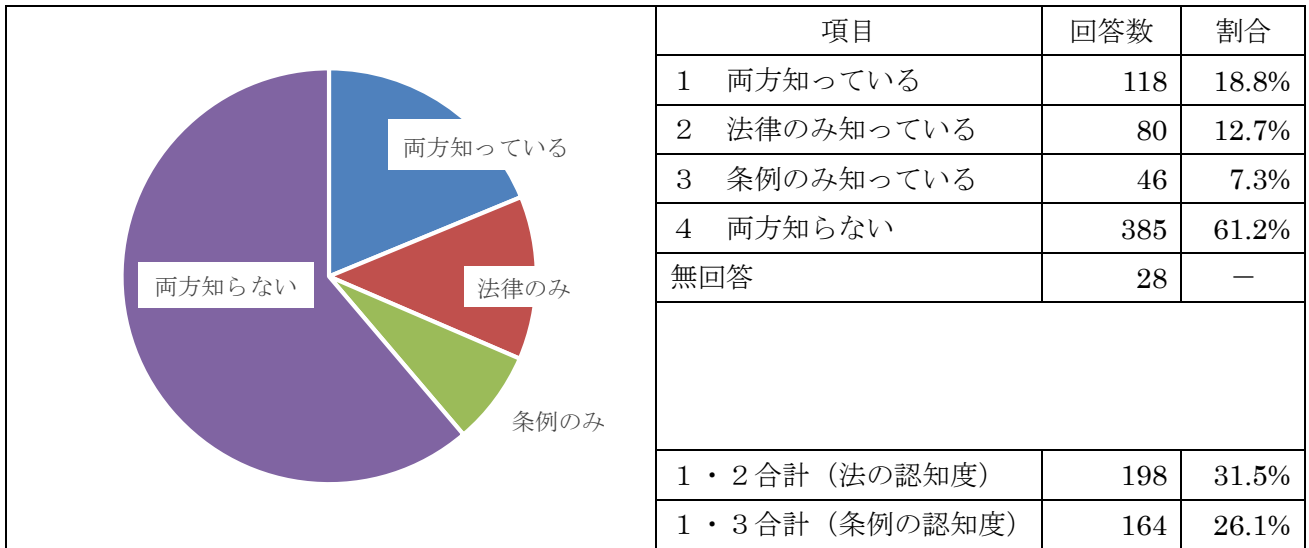
「間取りや外観など、希望の住宅が見つかりにくいから」が 37.5%と最も多く、「他人が住んだ住宅だから」「すぐにリフォームや修繕が必要となりそうだから」が続く結果となった。経年比較では、「他人が住んだ住宅だから」が大きく増加し、「耐久性や耐震性に不安があるから」が大きく減少する結果となった。

§ 3 空き家に関する設問 (Q18～Q20)

Q18 法律・条例の認知度

○空き家を適切に管理する義務を定めた「空家等対策の推進に関する特別措置法」や「旭川市空家等及び空地の適切な管理に関する条例」がありますが、知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 法律と条例が両方あることを知っている
2. 法律があることは知っているが、条例があることは知らない
3. 条例があることは知っているが、法律があることは知らない
4. 両方とも知らない



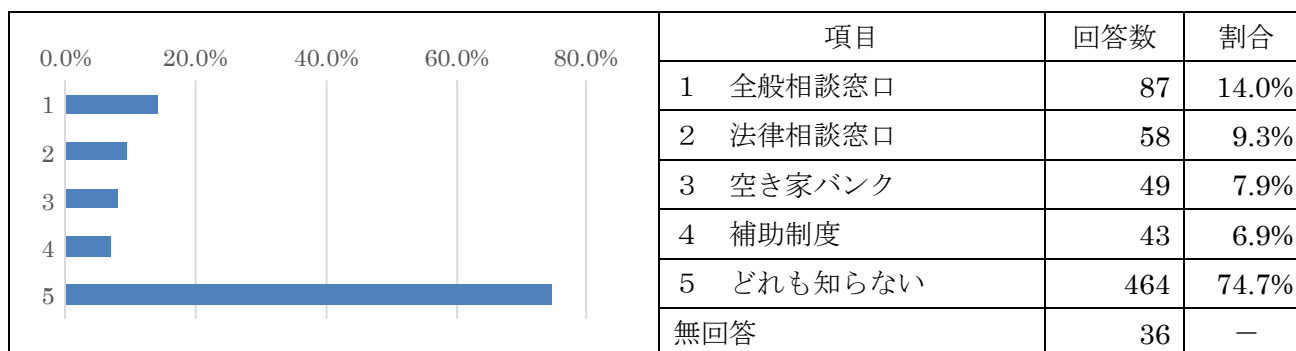
経年比較	H27		R3	増減
1 両方知っている	15.0%	↗	18.8%	3.7%
2 法律のみ知っている	13.7%	↘	12.7%	-1.0%
3 条例のみ知っている	9.6%	↘	7.3%	-2.3%
4 両方知らない	61.7%	→	61.2%	-0.5%

法律・条例ともに知らないという回答が6割を超えていた。また、法律は全体の31.5%の方が、条例は全体の26.1%の方がそれぞれ知っているという結果となった。なお、両方知っているという回答はH27より増加したものの、依然として全体の2割を切る結果となった。

Q19 支援制度の認知度

○空き家対策として、次の窓口や制度がありますが、知っていますか。知っているもの全てに○をつけてください。

1. 空き家全般に関する相談窓口
2. 法律相談窓口
3. 空き家バンク
4. 特定空家などの除却に関する補助制度
5. どれも知らない



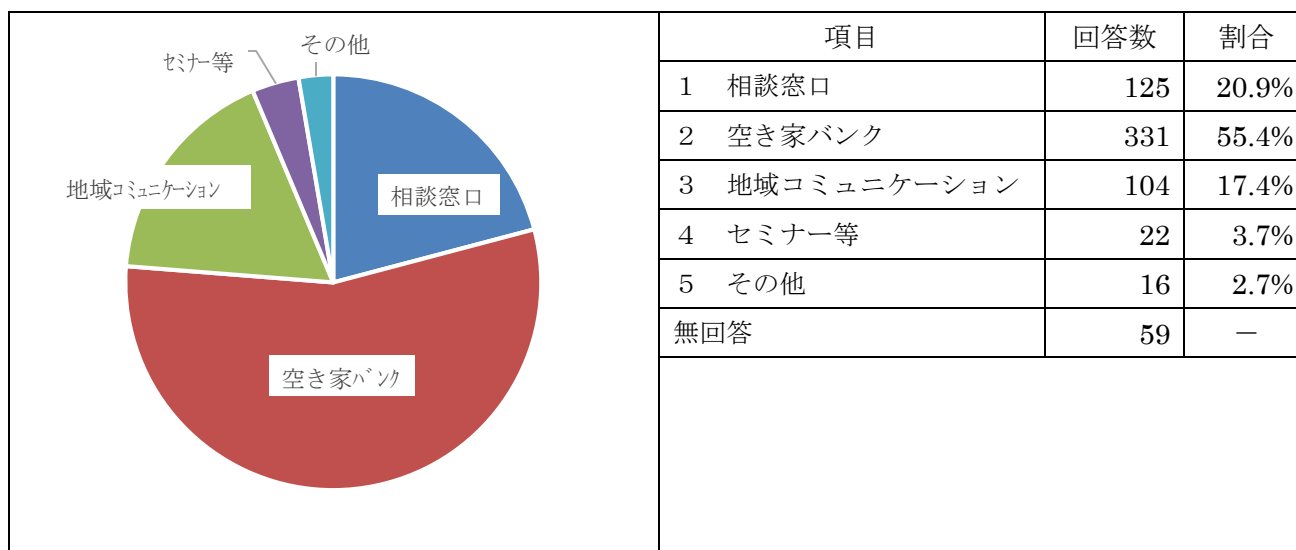
どの制度も知らないという回答が全体の約4分の3を占める結果となった。また、全般の相談窓口は認知度が14.0%であったが、残りの3制度は認知度が10%を切る結果となった。

Q20 空き家に関する施策

○「放置空き家」や「放置空き地」の増加を防ぐために、有効な支援策はどれだと思いますか。

あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 建物の相続権など、法律相談窓口の設置
2. 市や建築、不動産関係団体が連携して空き家などの所有者に売買・賃貸を仲介する「空き家バンク」制度の推進
3. 空き家などの所有者が民生委員や町内会に連絡先を伝えるなど、地域コミュニケーションの再構築
4. 建物やその敷地に関する適正な管理に向けたセミナーの開催や情報提供
5. その他



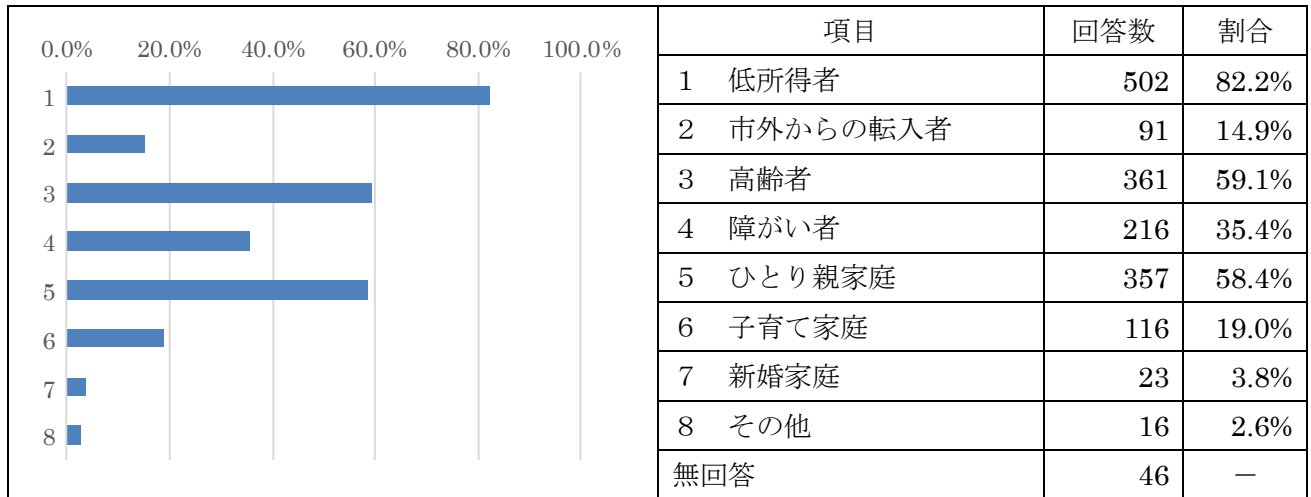
「空き家バンク」が最も多く、過半数を占めていた。次いで、「法律相談窓口の設置」「地域コミュニケーションの再構築」となっていた。

§ 4 市営住宅に関する設問 (Q21～Q22)

Q21 市営住宅を提供すべき人

○あなたは、今後の旭川市の市営住宅はどのような人のために必要だと考えますか。あなたの考えに近いものに3つまで○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| 1. 低所得者 | 2. 市外からの転入者 | 3. 高齢者 |
| 4. 障がい者 | 5. ひとり親家庭 | 6. 子育て家庭 |
| 7. 新婚家庭 | 8. その他 | |



経年比較	H27		R3	増減
1 低所得者	62.3%	—	82.2%	—
2 市外からの転入者	2.5%	—	14.9%	—
3 高齢者	16.0%	—	59.1%	—
4 障がい者	4.0%	—	35.4%	—
5 ひとり親家庭	6.7%	—	58.4%	—
6 子育て家庭	6.1%	—	19.0%	—
7 新婚家庭	0.6%	—	3.8%	—
8 その他	1.6%	—	2.6%	—

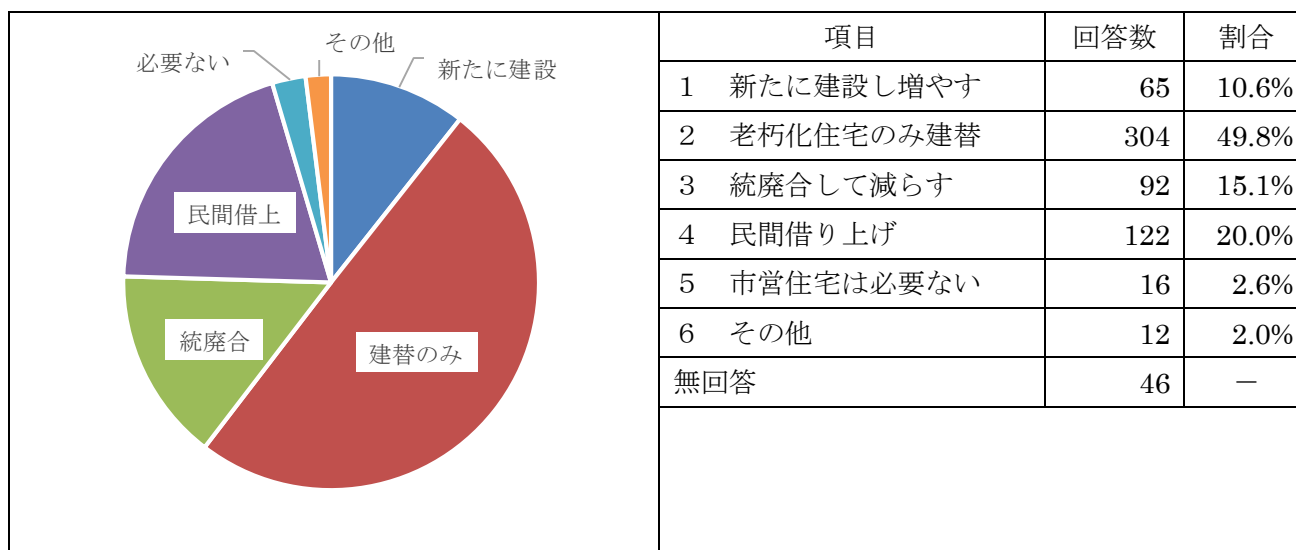
※H27 は単答方式で実施している。

「低所得者」が最も多く、回答者の8割以上が選択していた。次いで「高齢者」「ひとり親家庭」「障がい者」の順に割合が高くなっていた。経年比較について、H27は単答方式、R3は複数回答方式で実施しているため、直接比較はできないものの概ね同様の傾向を示していた。

Q22 今後の市営住宅について

○旭川市の市営住宅は、老朽化が進んでおり、建替え等を検討する必要があります。今後の市営住宅の建設についてどのようにすべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 不足しているので、新たに建設し増やすべき
2. 老朽化した市営住宅のみ建て替えて行くべき
3. 老朽化した市営住宅を統合や廃止して徐々に減らすべき
4. 新たに建設しないで、民間の賃貸住宅を借り上げるべき
5. 民間の賃貸住宅が十分にあるので、市営住宅は必要ない
6. その他



経年比較	H27		R3	増減
1 新たに建設し増やす	9.6%	↗	10.6%	1.0%
2 老朽化住宅のみ建替	42.9%	↗	49.8%	6.9%
3 統廃合して減らす	24.7%	↘	15.1%	-9.7%
4 民間借り上げ	15.9%	↗	20.0%	4.1%
5 市営住宅は必要ない	3.1%	→	2.6%	-0.5%
6 その他	3.7%	↘	2.0%	-1.8%

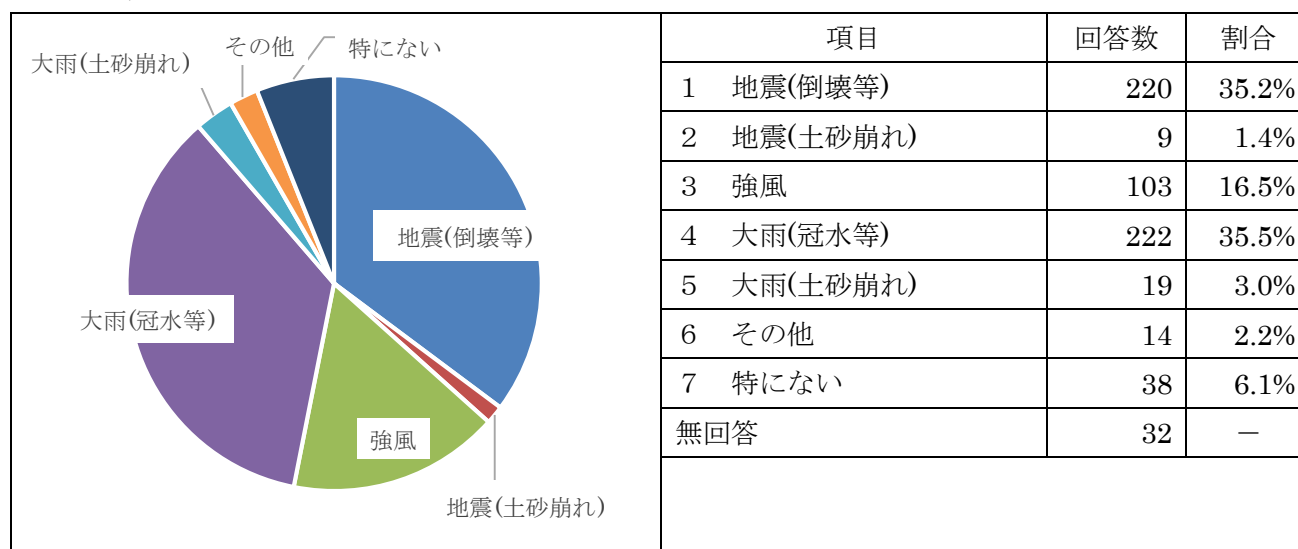
「老朽化した市営住宅のみ建て替えて行くべき」が最も多く、全体の約半数となっている。次いで「新たに建設しないで、民間の賃貸住宅を借り上げるべき」が2割を占めていた。経年比較では「老朽化した市営住宅を統合や廃止して徐々に減らすべき」が減り、「老朽化した市営住宅のみ建て替えて行くべき」「新たに建設しないで、民間の賃貸住宅を借り上げるべき」が増加していた。

§ 5 災害対策に関する設問 (Q23~Q25)

Q23 災害に対する不安

○災害について、あなたが最も心配していることは何ですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 地震による破損・倒壊など
2. 地震による土砂崩れなど
3. 強風による破損・倒壊など
4. 大雨による浸水・冠水など
5. 大雨による土砂崩れなど
6. その他
7. 特にない

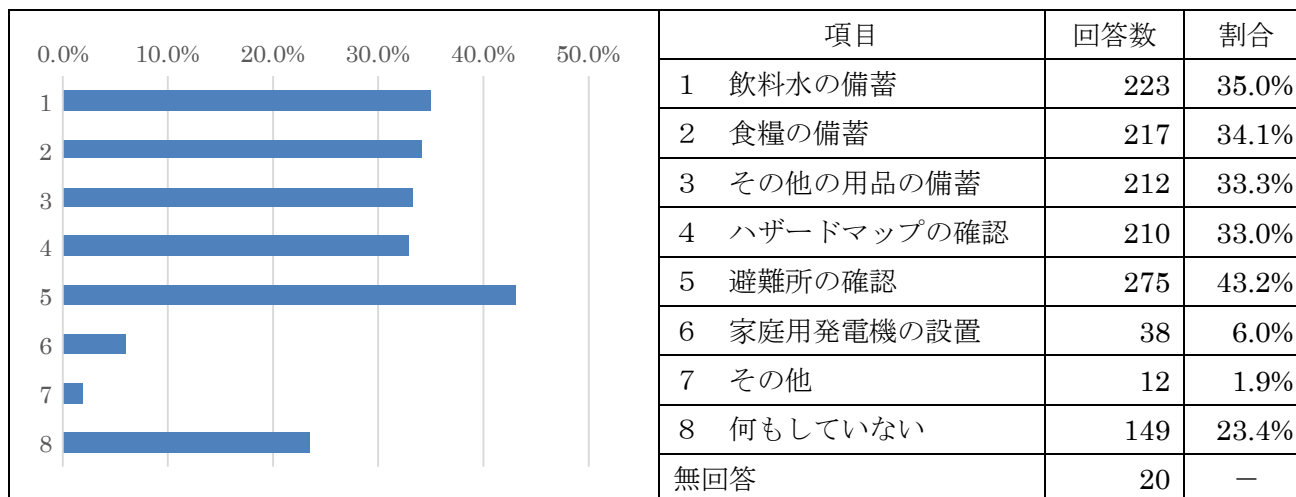


「大雨による浸水・冠水など」が最も多く、僅差で「地震による破損・倒壊など」が続いていた。3番手は「強風による破損・倒壊など」であり、この3肢で全体の約9割を占める結果となった。

Q24 個々の災害対策

○災害に備え、対策していることはありますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 飲料水の備蓄 | 2. 食糧の備蓄 |
| 3. その他の用品の備蓄（簡易トイレ・ラジオなど） | 4. ハザードマップの確認 |
| 5. 避難所の確認 | 6. 家庭用発電機の設置 |
| 7. その他 | 8. 何もしていない |

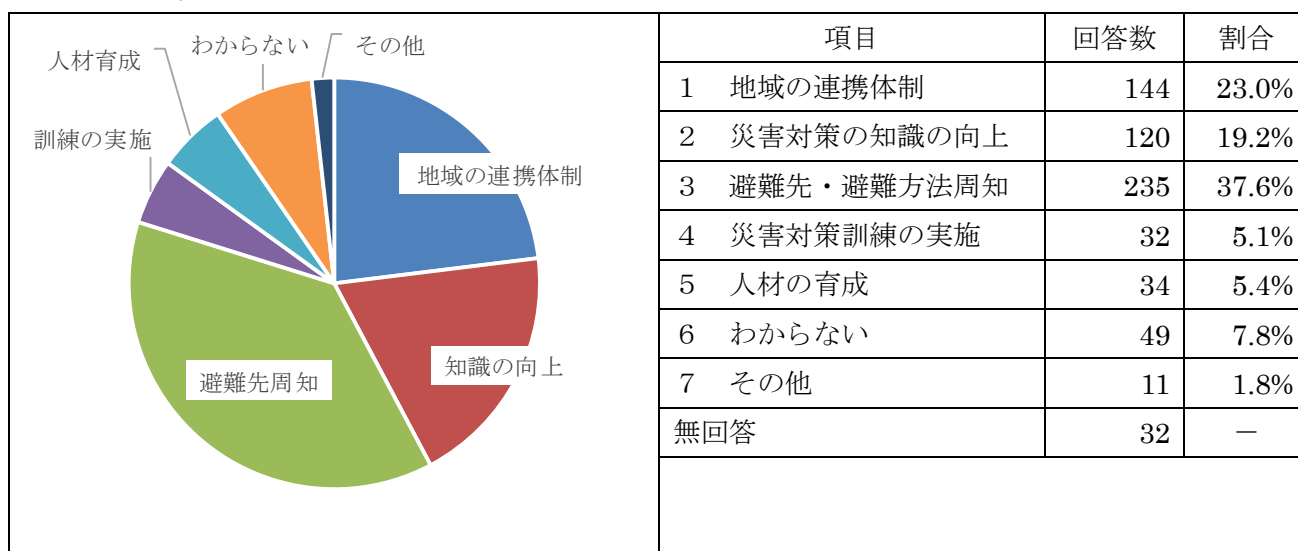


避難所を確認している方が全体の約4割ほど、ハザードマップを確認しているのは全体の約3割ほどであった。また、「飲料水」「食糧」「その他の用品」を備蓄しているという回答はともに約3分の1という結果であった。また、約4分の1ほど「何もしていない」との回答があった。

Q25 災害対策に関する施策

○次のうち災害対策としてあなたが最も重要だと思うものは何ですか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 地域の連携体制の構築 | 2. 災害対策についての知識の向上 |
| 3. 避難先や避難方法の周知 | 4. 災害対策訓練の実施 |
| 5. 防災に関する人材の育成 | 6. わからない |
| 7. その他 | |



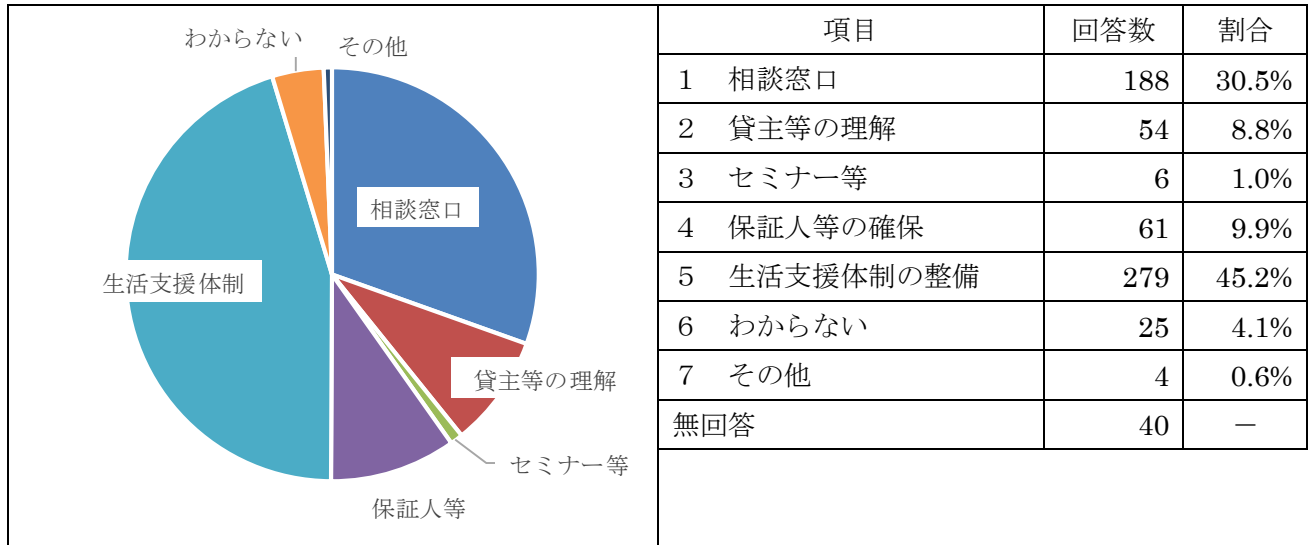
「避難先や避難方法の周知」が最も多く、次いで「地域の連携体制の構築」「災害対策についての知識の向上」となった。

§ 6 その他の設問 (Q26～Q32)

Q26 住宅確保要配慮者に関する施策

○高齢者や障がい者，低所得者の方などが，住まいを確保するために重要だと思うものは何ですか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 専門の相談窓口の設置
2. 貸主や管理会社の理解
3. 相談会やセミナーの実施
4. 保証人や緊急連絡先の確保
5. 生活支援体制の整備
6. わからない
7. その他

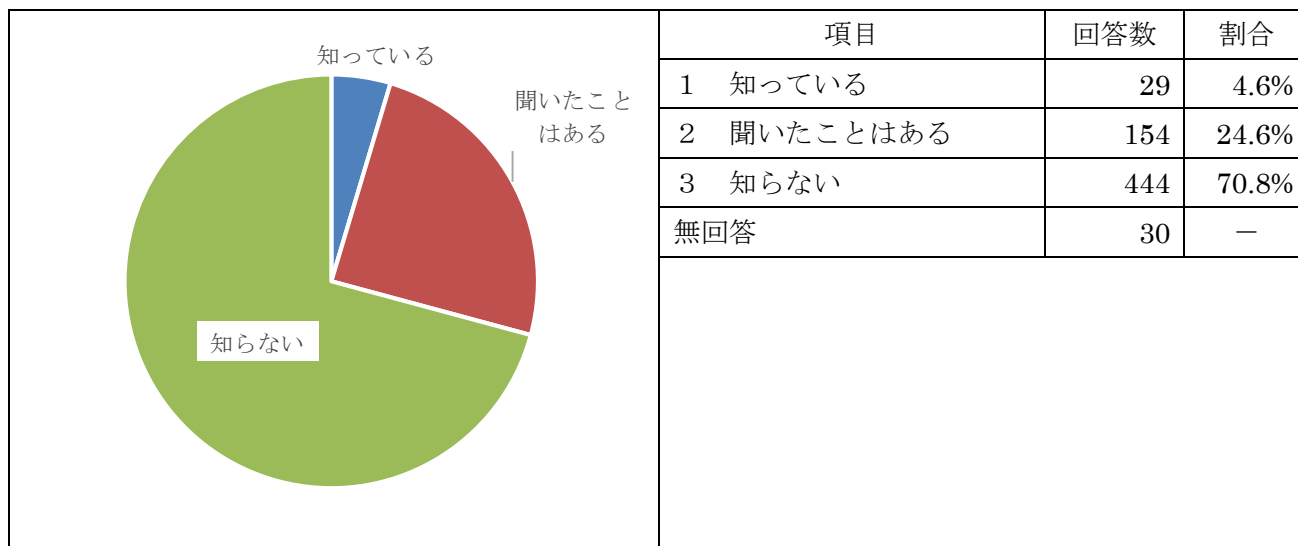


「生活支援体制の整備」が最も多く半数近くを占めており，次いで「専門の相談窓口の設置」が約3割となった。

Q27 セーフティーネット住宅の認知度

○高齢者や障がい者、低所得者の方などの入居を拒まない住宅（セーフティーネット住宅）があることを知っていますか。最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが内容は知らない 3. 知らない

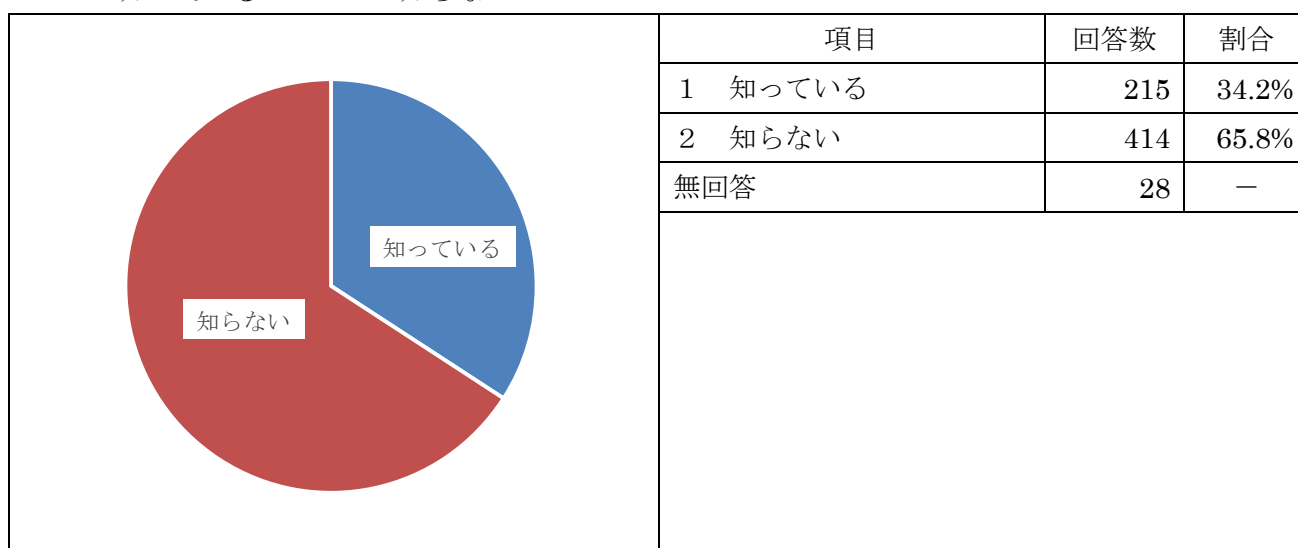


約7割の方が「知らない」という結果となった。また、「内容まで知っている」と答えた方は全体の5%以下であった。

Q28 民生委員・児童委員の認知度

○お住まいの地域の民生委員・児童委員がどなたかご存じですか。どちらかに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

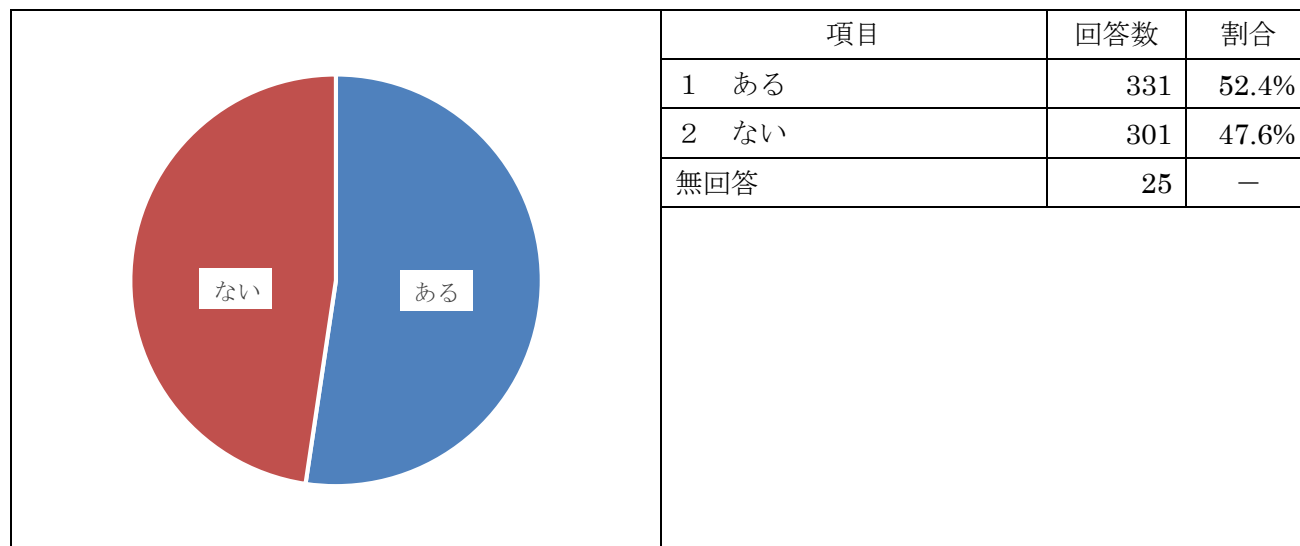


「知らない」が約3分の2を占める結果となった。

Q29 町内会等への参加

○町内会や自治会，市民委員会などが実施する活動に参加したことはありますか。どちらかに○をつけてください。

1. ある 2. ない



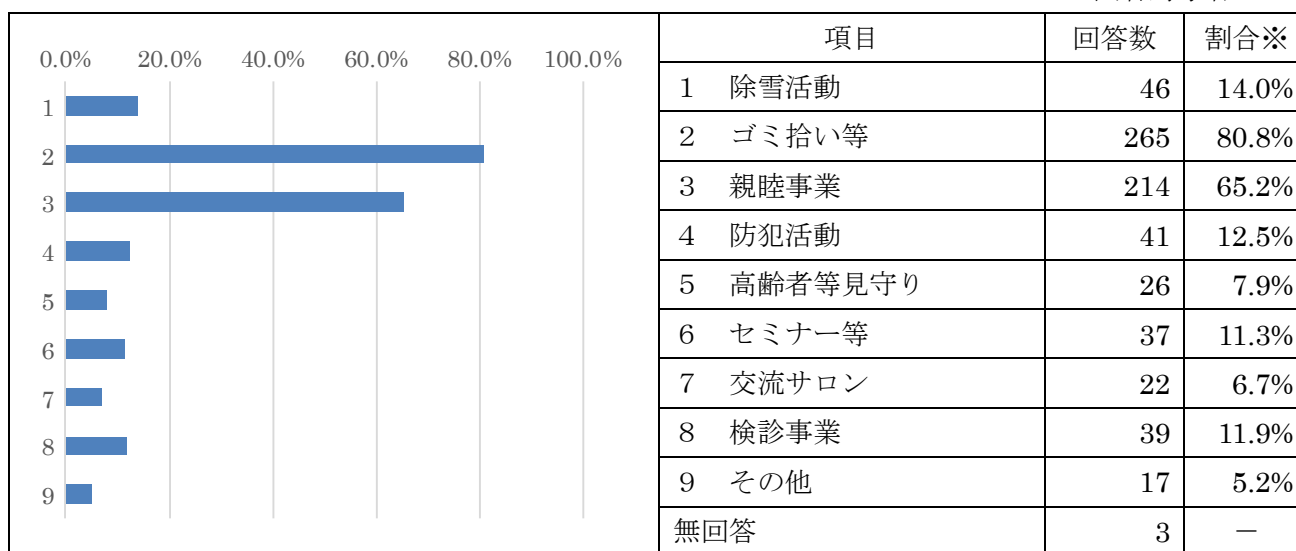
「参加したことがある」が 52.4%と、「参加したことがない」を上回る結果となった。

Q30 参加した活動

○Q29で「1. ある」と答えた方におたずねします。どんな活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------------|
| 1. 除雪活動 | 2. ゴミ拾いや廃品回収 | 3. 親睦事業（花見やお祭りなど） |
| 4. 防犯活動 | 5. 高齢者などの見守り | 6. 講話やセミナーなど |
| 7. 交流サロン | 8. 検診事業 | 9. その他 |

回答対象者：331



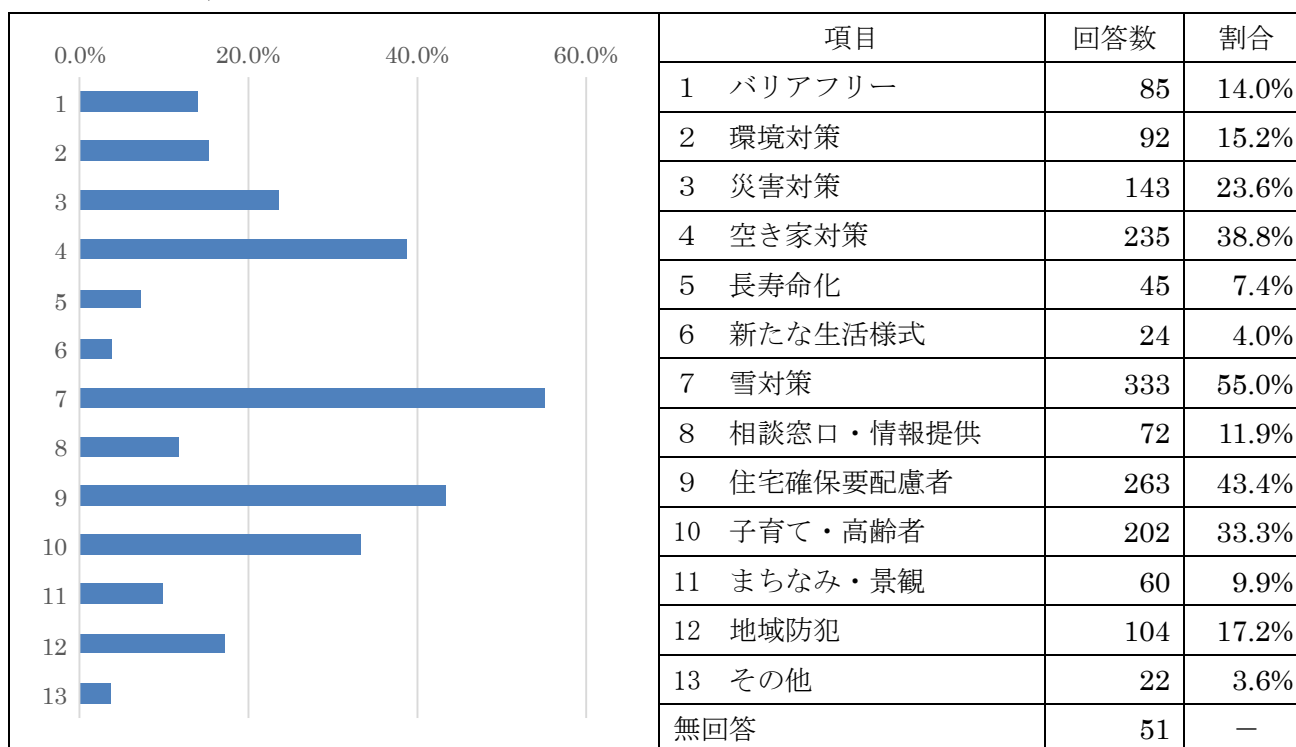
※回答対象者の数から無回答の数を除いた数に対する割合

「ゴミ拾いや廃品回収」「親睦事業（花見やお祭りなど）」が圧倒的に多く、順に 80.8%、65.2%となっていた。それ以外の選択肢は全て 15%を下回っていたが、その中では「除雪活動」「防犯活動」が多い結果となった。

Q3 1 今後の住宅施策

○今後、旭川市は「住まい」や「住環境」に関して、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。
あなたが特に重要だと思うものに3つまで○をつけてください。

1. 住宅や住環境のバリアフリー化の促進
2. 環境に配慮した住宅の普及促進（省エネルギー，低炭素など）
3. 災害に対する住宅の安全性の確保
4. 増加する空き家への対策
5. 住宅の長寿命化の推進
6. コロナ禍における「新たな生活様式」に対応した住宅の普及促進
7. 住宅における雪対策の推進（敷地内の雪対策，屋根からの落雪防止など）
8. 住宅に関する相談窓口の設置や情報提供
9. 高齢者，障がい者，低所得者など，住宅の確保に配慮が必要な方が，民間の賃貸住宅に入居するための支援
10. 子育てや高齢者世帯に配慮した住環境の整備
11. まちなみや美しい景観づくりの推進
12. 地域における防犯対策の充実
13. その他



経年比較	H27		R3	増減
1 バリアフリー	18.6%	↓	14.0%	-4.6%
2 環境対策	9.7%	↑	15.2%	5.5%
3 災害対策	9.0%	↑	23.6%	14.6%
4 空き家対策	23.7%	↑	38.8%	15.1%
5 長寿命化	15.4%	↓	7.4%	-8.0%
6 新たな生活様式	—	—	4.0%	—
7 雪対策	—	—	55.0%	—
8 相談窓口・情報提供	7.7%	↑	11.9%	4.2%
9 住宅確保要配慮者※1	46.4%	↓	43.4%	-3.0%
10 子育て・高齢者※2	66.5%	↓	33.3%	-33.1%
11 まちなみ・景観	21.0%	↓	9.9%	-11.1%
12 地域防犯	17.3%	→	17.2%	-0.1%
13 その他	1.5%	↑	3.6%	2.2%

※1 H27では「高齢者・障がい者」と「低所得者」で選択肢が分かれているが、統合して再集計した数値としている。

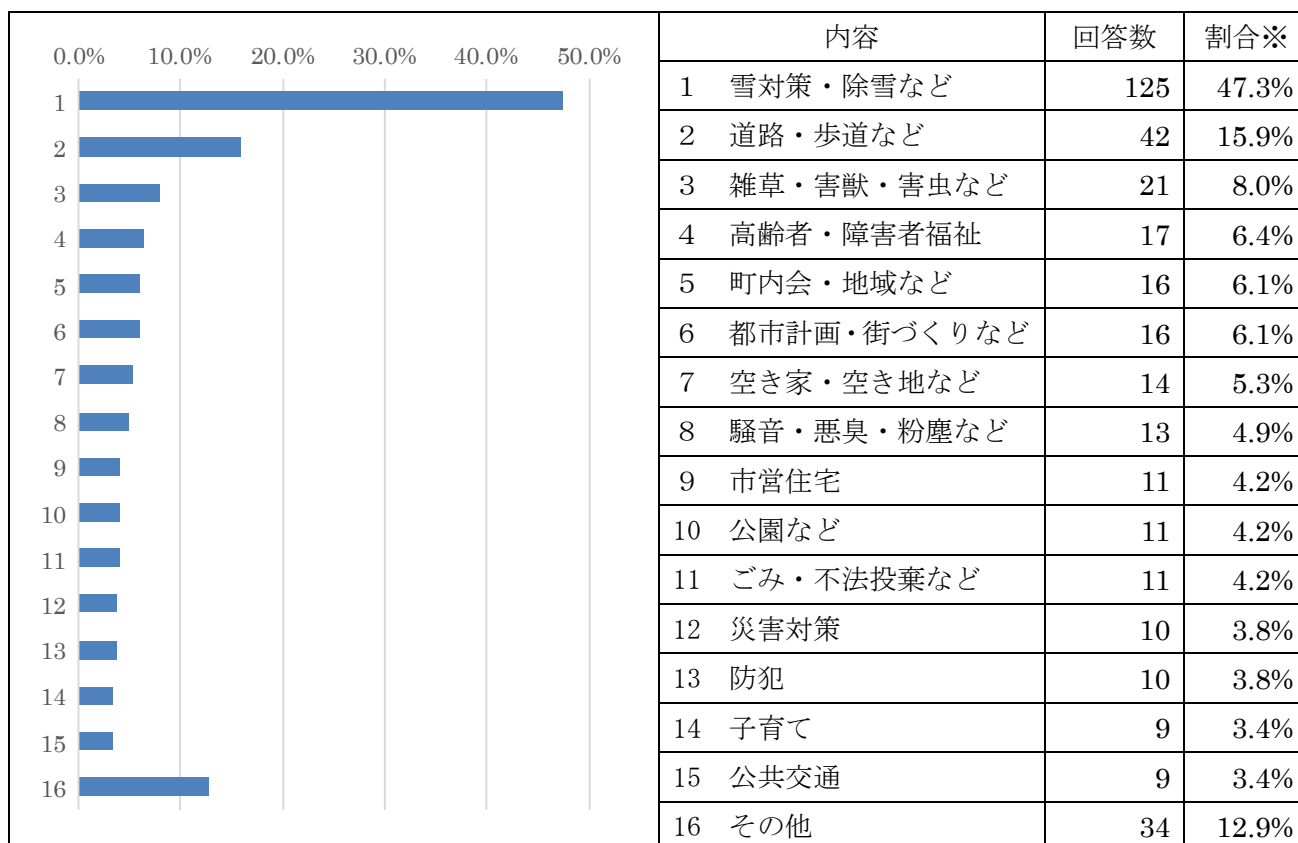
※2 H27では「子育て世帯」と「高齢者世帯」で選択肢が分かれているが、統合して再集計した数値としている。

半数以上がR3で新規選択肢とした「住宅における雪対策の推進」を選択しており、次いで「高齢者、障がい者、低所得者など、住宅の確保に配慮が必要な方が、民間の賃貸住宅に入居するための支援」、「増加する空き家への対策」、「子育てや高齢者世帯に配慮した住環境の整備」が多かった。「コロナ禍における『新たな生活様式』に対応した住宅の普及促進」も新規選択肢としていたが、こちらは4.0%に留まった。経年比較では新規選択肢である「住宅における雪対策の推進」に回答が集中し、他選択肢の回答が全体的に減少することが想定される中、「災害に対する住宅の安全性の確保」「増加する空き家への対策」が大きく数値を伸ばした。

Q3 2 自由記述

○あなたが住宅や周りの住環境について日ごろ感じていることがありましたら、御自由にお書きください。

計 264 件の回答がありました。具体的な個々の内容は報告書に掲載しませんが、主な内容は次のとおりでした。



※自由記述の回答があった 264 件に対する割合

雪対策や除雪に関連する記述が最も多く、全体の約半数となっていた。また、道路や歩道・街灯などの整備に関する記述、雑草や害獣・害虫などに関する記述が比較的多かった。

住まいと住環境に関する市民アンケート調査

調査御協力をお願い

日ごろ、市民の皆様には市政に対する御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、このアンケート調査は、皆様の「住まい」や「住環境」に対する御意見などをお聞かせいただき、今後予定しております「旭川市住生活基本計画」やその関連事業の見直しに当たっての貴重な資料として活用することを目的に実施するものです。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨を御理解いただき、ぜひともアンケートに御協力をお願い申し上げます。

なお、調査に当たりましては、本市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に1,500名を抽出し、御協力をお願いしております。

御記入いただいた内容は全て統計的に処理し、個々の内容を外部に公表することや本調査以外の目的で使用することは決してございませんので、率直な御意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

令和3年11月

旭川市長 今津寛介

【アンケートの御記入、御返送に際してのお願い】

○御回答は、宛名の御本人様が記入してください。

○御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月30日（火）までにポストに投函してください。

○アンケートの集計結果は、取りまとめ次第速やかに市ホームページにおいて公表予定です。

○この調査に関して、御不明な点などがございましたら、次の担当までお問い合わせください。

担当

旭川市建築部建築総務課

〒070-8525 旭川市6条通10丁目第3庁舎4階

TEL 0166-25-9708

Eメール kenchikusomu@city.asahikawa.lg.jp

§ 1 「今、お住まいの住宅や地域」についておたずねします。

Q1 今お住まいの住宅は次のうちどれにあたりますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 持ち家（1戸建て） | 2. 持ち家（分譲マンション） |
| 3. 借家（1戸建て） | 4. 借家（賃貸アパートなど） |
| 5. 公営住宅（市営住宅や道営住宅） | 6. 社宅・官舎・寮など |
| 7. その他（ | ） |

Q2 今お住まいの住宅に何年住んでいますか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 10年未満 | 2. 10年以上～20年未満 |
| 3. 20年以上～30年未満 | 4. 30年以上 |

Q3 今お住まいの住宅に、次に該当する方は何人いますか。人数を記入してください。

いない場合は0を記入してください。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 65歳以上の高齢者（ | 人） |
| 2. 18歳未満の子ども（ | 人） |
| 3. 障がいをお持ちの方（ | 人 うち18歳未満 人, 65歳以上 人） |

Q4 今お住まいの「住宅」について、どのように感じていますか。項目ごとに、どれか1つに○を記入してください。

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
1. 住宅の広さ・間取り					
2. 台風・大雨などに対する安全性					
3. 地震などに対する安全性					
4. 火災に対する備え					
5. 断熱性や気密性（防寒・防暑）					
6. 防音性					
7. バリアフリー対応					
8. 省エネや脱炭素などの環境への配慮					
9. 日当たり・風通し					
10. 築年数					
11. 防犯性能					
12. 台所・風呂・トイレなどの設備					
13. 雪への備え					
14. インターネットなど通信環境					

Q5 あなたが住宅に求めるものの中で優先度の高いものはどれですか。3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住宅の広さ・間取り | 2. 台風・大雨などに対する安全性 |
| 3. 地震などに対する安全性 | 4. 火災に対する備え |
| 5. 断熱性や気密性（防寒・防暑） | 6. 防音性 |
| 7. バリアフリー対応 | 8. 省エネや脱炭素などの環境への配慮 |
| 9. 日当たり・風通し | 10. 築年数 |
| 11. 防犯性能 | 12. 台所・風呂・トイレなどの設備 |
| 13. 雪への備え | 14. インターネットなど通信環境 |
| 15. その他（ | ） |

Q6 今お住まいの「地域」について、どのように感じていますか。項目ごとに、どれか1つに○を記入してください。

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
1. 病院・福祉サービスの便利さ					
2. 治安や防犯性					
3. 地震・火災・水害等に対する安全性					
4. 自然・公園や緑					
5. 子育て環境					
6. まちなみ・景観					
7. バリアフリー環境					
8. 周囲の人間関係（近隣関係・自治会など）					
9. 雪対策					
10. 騒音					
11. 道路の安全性					
12. 交通の便利さ（通勤・通学・通院など）					
13. 買い物の便利さ					

Q7 あなたが住環境に求めるものの中で優先度の高いものはどれですか。

3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 病院・福祉サービスの便利さ | 2. 治安や防犯性 |
| 3. 地震・火災・水害等に対する安全性 | 4. 自然・公園や緑 |
| 5. 子育て環境 | 6. まちなみ・景観 |
| 7. バリアフリー環境 | 8. 周囲の人間関係（近隣関係・自治会など） |
| 9. 雪対策 | 10. 騒音 |
| 11. 道路の安全性 | 12. 交通の便利さ（通勤・通学・通院など） |
| 13. 買い物の便利さ | 14. その他（ |
| | ） |

Q17 Q16で「2. いいえ（新築住宅が良い）」と答えた方におたずねします。中古住宅を希望しない理由は何ですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. すぐにリフォームや修繕が必要となりそうだから
2. 耐久性や耐震性に不安があるから
3. 間取りや外観など、希望の住宅が見つかりにくいから
4. 断熱性能や省エネルギー性能が低そうだから
5. 他人が住んだ住宅だから
6. 資産価値が低そうだから
7. その他（)

§3 「空き家」についておたずねします。

Q18 空き家を適切に管理する義務を定めた「空家等対策の推進に関する特別措置法」や「旭川市空家等及び空地の適切な管理に関する条例」がありますが、知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 法律と条例が両方あることを知っている
2. 法律があることは知っているが、条例があることは知らない
3. 条例があることは知っているが、法律があることは知らない
4. 両方とも知らない

Q19 空き家対策として、次の窓口や制度がありますが、知っていますか。知っているもの全てに○をつけてください。

1. 空き家全般に関する相談窓口
2. 法律相談窓口
3. 空き家バンク
4. 特定空家などの除却に関する補助制度
5. どれも知らない

Q20 「放置空き家」や「放置空き地」の増加を防ぐために、有効な支援策はどれだと思いますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 建物の相続権など、法律相談窓口の設置
2. 市や建築、不動産関係団体が連携して空き家などの所有者に売買・賃貸を仲介する「空き家バンク」制度の推進
3. 空き家などの所有者が民生委員や町内会に連絡先を伝えるなど、地域コミュニケーションの再構築
4. 建物やその敷地に関する適正な管理に向けたセミナーの開催や情報提供
5. その他（)

§ 4 「市営住宅」についておたずねします。

Q21 あなたは、今後の旭川市の市営住宅はどのような人のために必要だと考えますか。あなたの考えに近いものに3つまで○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| 1. 低所得者 | 2. 市外からの転入者 | 3. 高齢者 |
| 4. 障がい者 | 5. ひとり親家庭 | 6. 子育て家庭 |
| 7. 新婚家庭 | 8. その他（ | ） |

Q22 旭川市の市営住宅は、老朽化が進んでおり、建替え等を検討する必要があります。今後の市営住宅の建設についてどのようにすべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 不足しているので、新たに建設し増やすべき
 2. 老朽化した市営住宅のみ建て替えて行くべき
 3. 老朽化した市営住宅を統合や廃止して徐々に減らすべき
 4. 新たに建設しないで、民間の賃貸住宅を借り上げるべき
 5. 民間の賃貸住宅が十分にあるので、市営住宅は必要ない
 6. その他（
- ）

§ 5 「災害対策」についておたずねします。

Q23 災害について、あなたが最も心配していることは何ですか。1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 地震による破損・倒壊など | 2. 地震による土砂崩れなど |
| 3. 強風による破損・倒壊など | 4. 大雨による浸水・冠水など |
| 5. 大雨による土砂崩れなど | 6. その他（ |
| 7. 特にない | ） |

Q24 災害に備え、対策していることはありますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- | | | |
|---------------|-----------|---------------------------|
| 1. 飲料水の備蓄 | 2. 食糧の備蓄 | 3. その他の用品の備蓄（簡易トイレ・ラジオなど） |
| 4. ハザードマップの確認 | 5. 避難所の確認 | 6. 家庭用発電機の設定 |
| 7. その他（ | ） | 8. 何もしていない |

Q25 次のうち災害対策としてあなたが最も重要だと思うものは何ですか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 地域の連携体制の構築 | 2. 災害対策についての知識の向上 |
| 3. 避難先や避難方法の周知 | 4. 災害対策訓練の実施 |
| 5. 防災に関する人材の育成 | 6. わからない |
| 7. その他（ | ） |

§ 6 その他についておたずねします。

Q26 高齢者や障がい者、低所得者の方などが、住まいを確保するために重要だと思うものは何ですか。あなたの考えに最も近いものに1つ○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 専門の相談窓口の設置 | 2. 貸主や管理会社の理解 |
| 3. 相談会やセミナーの実施 | 4. 保証人や緊急連絡先の確保 |
| 5. 生活支援体制の整備 | 6. わからない |
| 7. その他（ | ） |

Q27 高齢者や障がい者、低所得者の方などの入居を拒まない住宅（セーフティーネット住宅）があることを知っていますか。最も近いものに1つ○をつけてください。

1. 知っている 2. 聞いたことはあるが内容は知らない 3. 知らない

Q28 お住まいの地域の民生委員・児童委員がどなたかご存じですか。どちらかに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

Q29 町内会や自治会、市民委員会などが実施する活動に参加したことはありますか。どちらかに○をつけてください。

1. ある 2. ない

Q30 Q29で「1. ある」と答えた方におたずねします。どんな活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|--------------|-------------------|---|
| 1. 除雪活動 | 2. ゴミ拾いや廃品回収 | 3. 親睦事業（花見やお祭りなど） | |
| 4. 防犯活動 | 5. 高齢者などの見守り | 6. 講話やセミナーなど | |
| 7. 交流サロン | 8. 検診事業 | 9. その他（ | ） |

Q31 今後、旭川市は「住まい」や「住環境」に関して、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。あなたが特に重要だと思うものに3つまで○をつけてください。

1. 住宅や住環境のバリアフリー化の促進
2. 環境に配慮した住宅の普及促進（省エネルギー、低炭素など）
3. 災害に対する住宅の安全性の確保
4. 増加する空き家への対策
5. 住宅の長寿命化の推進
6. コロナ禍における「新たな生活様式」に対応した住宅の普及促進
7. 住宅における雪対策の推進（敷地内の雪対策、屋根からの落雪防止など）
8. 住宅に関する相談窓口の設置や情報提供
9. 高齢者、障がい者、低所得者など、住宅の確保に配慮が必要な方が、民間の賃貸住宅に入居するための支援
10. 子育てや高齢者世帯に配慮した住環境の整備
11. まちなみや美しい景観づくりの推進
12. 地域における防犯対策の充実
13. その他（）

Q32 あなたが住宅や周りの住環境について日ごろ感じていることがありましたら、御自由にお書きください。

○以上で設問は終わりです。御協力いただきまして、誠にありがとうございました。

○御回答いただきました市民アンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月30日（火）までにポストに投函いただきますようお願いいたします。